



2009年3月期<第137期>

# 決算説明会

2009年5月26日



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風



## 本日のご説明内容

- ⇒ 2009年3月期 連結業績の概要
- ⇒ 2010年3月期 連結業績見通し
- ⇒ 今後の事業環境及び中長期戦略

取締役社長 太田 勝也



## 2009年3月期 連結業績の概要

2010年3月期 通期業績見通し

今後の事業環境及び中長期戦略



■ プラス要因 ■ マイナス要因

P/L

■ ■ <デンタル> 化工品類、機械器具類が新製品効果により好調に推移したものの、人工歯類の減収などから、国内売上高は**0.9%の微増収**  
<新製品売上高:1,386百万円/単体売上高対比10.4%>

■ <ネイル> 国内売上高は1,698百万円**(実質1,499百万円の増収)**

■ デンタル・ネイル・その他を合わせた**国内売上高は14.3%の増収**

■ ■ 海外売上高は、アジア(韓国・台湾)が好調に推移したものの、為替変動のマイナス影響(△416百万円)から、  
**海外売上高は6.5%減収**(デンタル事業海外売上高比率25.7%)

■ **売上高は16,526百万円(8.6%増収)**

■ ■ ネイル事業の増収効果はあったものの、同事業に係る販売一般管理費の増加、のれん償却及び広告宣伝費・研究開発費など先行投資的費用の増加から、**営業利益は1,414百万円(3.7%減益)**、加えて、為替差損の発生などから、**経常利益は1,313百万円(13.2%減益)**

■ ■ 特別利益において貸倒引当金戻入(78百万円)、関税還付(50百万円)を計上する一方、有価証券評価損の発生(98百万円)などから、  
**当期純利益は793百万円(12.9%減益)**

# 業績概要②

2009/3期 業績の概要



■ プラス要因 ■ マイナス要因

B/S

- 保有有価証券の株価下落により投資有価証券は、減損処理分98百万円を含め**1,000百万円減少**、純資産に含まれる有価証券評価差額は**550百万円減少**

C/F

設備投資額: 1,352百万円

(主な内訳)

- ・ 仙台営業所 土地・建物 232百万円
- ・ 大阪営業所 土地 232百万円
- ・ 統合基幹システム関係 278百万円(無形固定資産・リース資産)
- ・ 人工歯成型機など 202百万円(生産子会社)
- ・ 英国子会社建物増設 87百万円

# 当期業績の概要<前期対比・予想対比>

2009/3期 業績の概要



前期対比 増収・減益 / 予想対比: 減収・減益 (営業増益)

単位: 百万円、%

	2008/3期 (実績) (対売上率)	2009/3期 (予想) (対売上率)	2009/3期 (実績) (対売上率)	前年同期 対比 (増減率)	予想対比 (増減率)
売上高	15,212 (100.0)	17,177 (100.0)	16,526 (100.0)	1,314 (8.6)	△650 (△3.8)
(国内売上高)	11,090 (72.9)	12,714 (74.0)	12,674 (76.7)	1,584 (14.3)	△40 (△0.3)
(海外売上高)	4,122 (27.1)	4,463 (26.0)	3,852 (23.3)	△269 (△6.5)	△610 (△13.7)
営業利益	1,468 (9.7)	1,378 (8.0)	1,414 (8.6)	△54 (△3.7)	35 (2.6)
経常利益	1,513 (10.0)	1,309 (7.6)	1,313 (7.9)	△200 (△13.2)	3 (0.3)
当期純利益	910 (6.0)	839 (4.9)	793 (4.8)	△117 (△12.9)	△46 (△5.5)
1株当たり当期純利益	57.83円	58.83円	55.57円		
株主資本利益率	4.93%	4.82%	4.72%		

# 製品分類別売上高<前期対比>

2009/3期 業績の概要



金額単位:百万円、( )内は増減率、単位%

	2008/3期 実績	2009/3期 実績	前年同期対比	
			国内	海外
人工歯類	2,950	2,769	△180 (△6.1)	△133 △46
研削材類	3,612	3,510	△101 (△2.8)	7 △109
金属類	475	431	△44 (△9.4)	△49 5
化工品類	2,923	2,980	56 (1.9)	98 △41
セメント類他	1,661	1,611	△49 (△3.0)	8 △58
機械器具類その他	3,238	3,369	131 (4.1)	170 △38
歯科事業計	14,862	14,673	△188 (△1.3)	101 △289
ネイル事業	256	1,773	1,516 (590.1)	1,496 19
その他	93	79	△13 (△14.9)	△13 0
合計	15,212	16,526	1,314 (8.6)	1,584 △269

海外売上高における為替変動の影響額は、△416百万円であります。  
(米ドル、ユーロ、英ポンド、中国人民元)

2009/3期より、ネイル事業及びその他(工業用研磨材)を区分しておりますが、対比のため、前年同期についても組み替えて表示しております。

# 製品分類別売上高<予想対比>

2009/3期 業績の概要



金額単位:百万円、( )内は増減率、単位%

	2009/3期 予想	2009/3期 実績	予想対比		
			国内	海外	
人工歯類	3,018	2,769	△248 (△8.2)	△121	△127
研削材類	3,701	3,510	△190 (△5.1)	33	△223
金属類	472	431	△41 (△8.8)	△46	5
化工品類	3,026	2,980	△45 (△1.5)	31	△77
セメント類他	1,753	1,611	△141 (△8.1)	△5	△136
機械器具類その他	3,350	3,369	19 (0.6)	81	△61
歯科事業計	15,322	14,673	△649 (△4.2)	△27	△621
ネイル事業	1,760	1,773	13 (0.8)	2	10
その他	94	79	△15 (△16.1)	△15	0
合計	17,177	16,526	△650 (△3.8)	△40	△610

海外売上高における為替変動の影響額は、△558百万円であります。  
(米ドル、ユーロ、英ポンド、中国人民幣元)

# 国内売上高

2009/3期 業績の概要



■ プラス要因 ■ マイナス要因

## ◇ デンタル事業

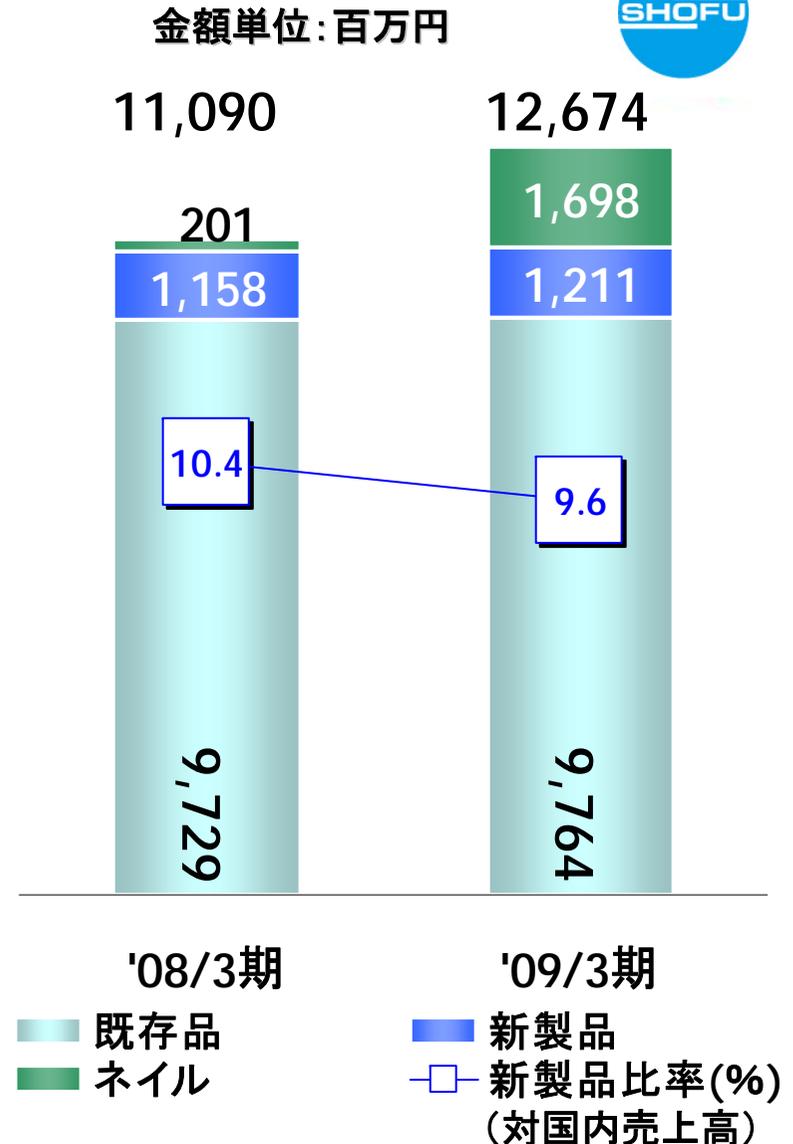
- デジタル口腔撮影装置「アイスペシャル C- I」が順調に推移したほか、当期発売の化工品類、機械器具類が寄与
- 一方、主力の人工歯類は4.3%減収
- 国内全体としては、10,896百万円、前期比101百万円(0.9%)の微増収

## ◇ ネイル事業

- (株)ネイルラボ子会社化により本格参入 ほぼ計画通り順調に推移し、当期売上高は1,698百万円、前期比1,496百万円の増収

## ◇ 当期発売の主な新製品

- 歯科用象牙質接着材「ビューティボンド」(化工品類)
- 歯科重合用光照射器「ブルーショット」(機械器具類)



# 海外売上高

2009/3期 業績の概要



金額単位:百万円、( )内は構成比率(%)

■ プラス要因 ■ マイナス要因

## ■ 北米・中南米

- 化工品類は順調に推移したものの、人工歯類(陶材)のマイナスから、現地通貨ベース 4.4%減収

## ■ 欧州

- 化工品類は順調に推移したものの、セメント類、機械器具類のマイナスから現地通貨ベース0.5%減収

## ■ アジア・オセアニア

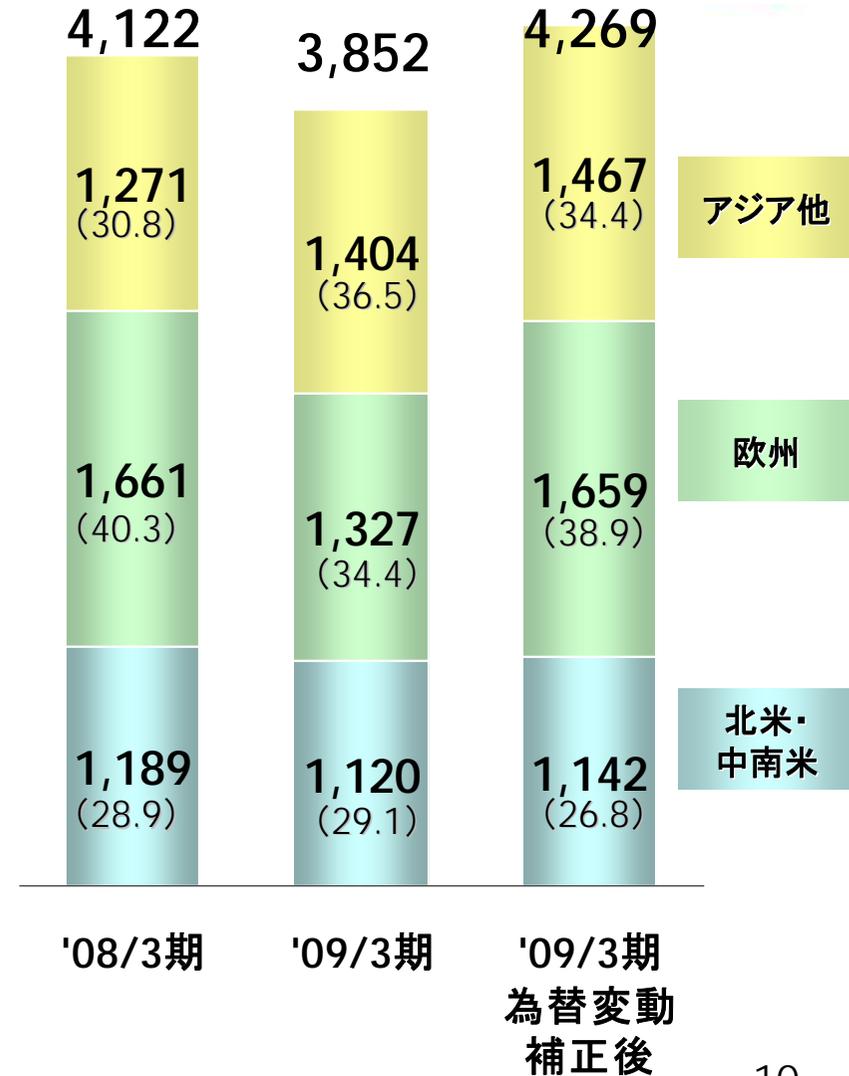
- 中国:人工歯類、セメント類を中心に現地通貨ベース 8.0%増収
- その他地域(円建取引)は、全般的に好調に推移、18.8%増収

## ■ 主要通貨為替レート

- 米ドル 98.23円(前期 100.19円)
- ユーロ 129.84円(前期 158.19円)

## ■ (デンタル)海外売上高比率

- 25.7%(前年同期 27.4%)  
(為替変動補正後 27.8%)



# 事業別セグメント(売上高・営業利益)

2009/3期 業績の概要



金額単位:百万円、( )内は対売上高比率・増減率、単位%

		2009/3期 (予想)	2009/3期 (実績)	予想対比
デンタル	売上高	15,322	14,673	△649 (△4.2)
	営業費用	13,986	13,313	△672 (△4.8)
	営業利益	1,336 (8.7)	1,359 (9.3)	23 (1.8)
ネイル	売上高	1,760	1,773	13 (0.8)
	営業費用	1,742	1,736	△5 (△0.3)
	営業利益	18 (1.0)	37 (2.1)	19 (106.7)
その他	売上高	94	79	△15 (△16.1)
	営業費用	70	62	△8 (△11.6)
	営業利益	24 (25.5)	17 (21.5)	△7 (△29.3)
連結	売上高	17,177	16,526	△650 (△3.8)
	営業費用	15,799	15,112	△686 (△4.3)
	営業利益	1,378 (8.0)	1,414 (8.6)	35 (2.6)

⇒ ネイル事業の営業費用には、予想・実績ともに、(株)ネイルラボ株式取得に係るのれん償却89百万円を含んでおります。(総額712百万円・8年償却)

# 所在地別セグメント(売上高・営業利益)

2009/3期 業績の概要



金額単位:百万円、( )内は対売上高比率、単位%

		2008/3期	2009/3期	2009/3期	前期対比	予想対比
		(実績)	(予想)	(実績)		
		金額(対売上率)	金額(対売上率)	金額(対売上率)		
日本	売上高	13,484	15,228	15,214	1,729	△14
	営業利益 (営業利益率)	1,378 (10.2)	1,178 (7.7)	1,384 (9.1)	6	206
アメリカ	売上高	1,167	1,409	1,092	△74	△316
	営業利益 (営業利益率)	49 (4.2)	39 (2.8)	24 (2.3)	△24	△14
欧州	売上高	1,823	1,829	1,466	△357	△362
	営業利益 (営業利益率)	91 (5.0)	99 (5.5)	△2 (△0.2)	△93	△102
アジア	売上高	544	631	524	△20	△106
	営業利益 (営業利益率)	67 (12.4)	57 (9.1)	47 (9.1)	△19	△9
在外合計	売上高	3,535	3,870	3,083	△451	△786
	営業利益 (営業利益率)	207 (5.9)	196 (5.1)	69 (2.3)	△137	△127
連結消去前 合計	売上高	17,020	19,099	18,298	1,278	△801
	営業利益 (営業利益率)	1,585 (9.3)	1,374 (7.2)	1,454 (7.9)	△131	79
連結	売上高	15,212	17,177	16,526	1,314	△650
	営業利益 (営業利益率)	1,468 (9.7)	1,378 (8.0)	1,414 (8.6)	△54	35

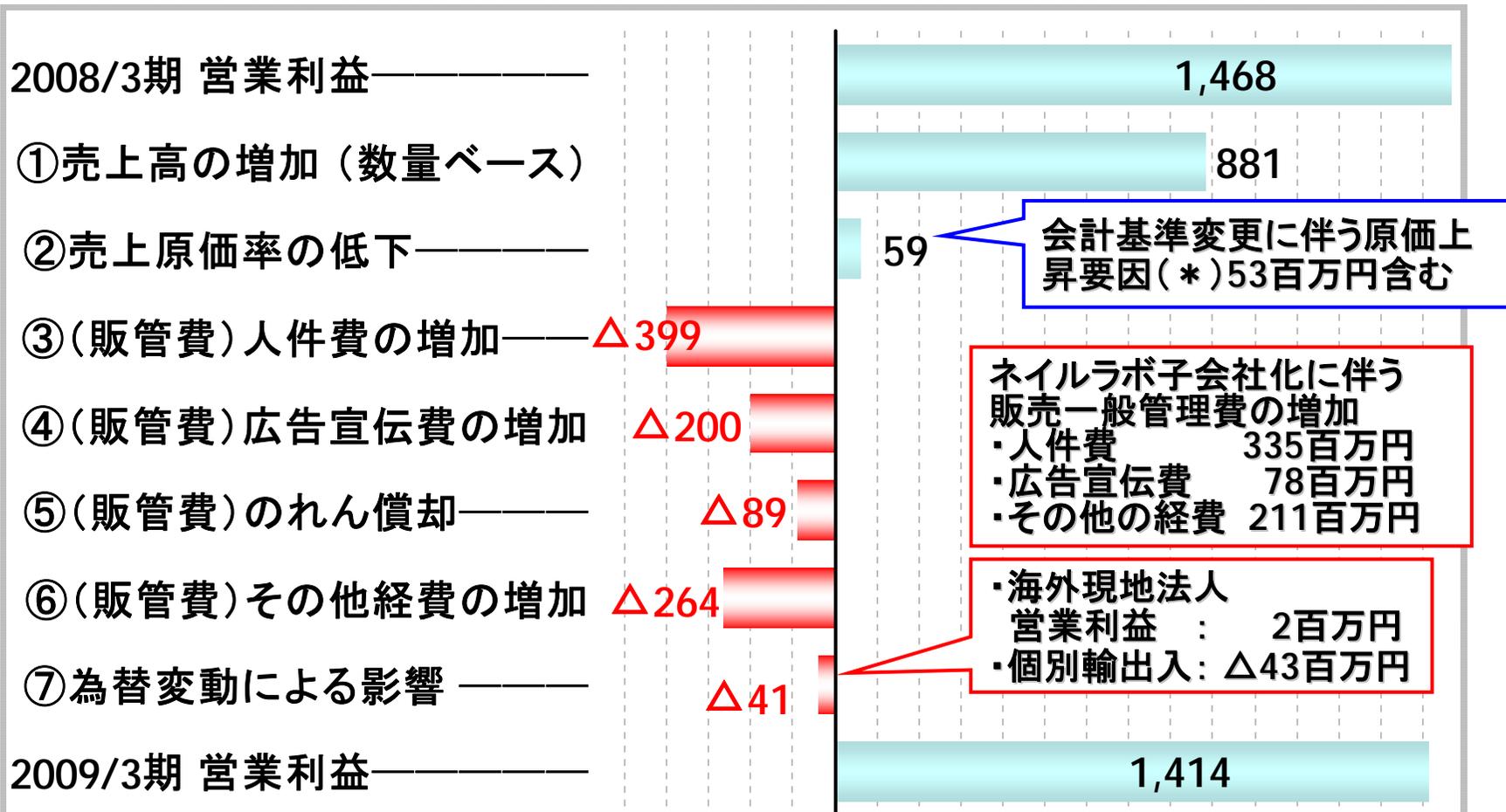
\* 営業利益に影響を与える主な連結調整項目は、内部取引に係る未実現利益の除去であります。

# 営業利益の変動要因

2009/3期 業績の概要



金額単位: 百万円



\* ①～⑦の変動要因は、為替変動による影響を除いた数値であります。  
 \* 会計基準変更・・・法定耐用年数の見直し(短縮)による減価償却費の増加、  
 棚卸資産の評価における低価法の強制適用

# 財政状態～貸借対照表主要科目

2009/3期 業績の概要



金額単位: 百万円

	'08/3期	'09/3期	対比	主な変動要因・特記事項
現金預金	3,525	4,694	1,169	譲渡性預金(有価証券)からの振替
受取手形・売掛金	2,758	2,490	△267	現金回収化促進
棚卸資産	2,966	3,146	180	
有価証券・投資有価証券	5,162	2,843	△2,319	譲渡性預金を現金預金へ振替 (△1,305百万円) 投資有価証券の時価評価 (△1,000百万円)
その他	6,940	7,769	828	有形・無形固定資産 576百万円増加
<b>資 産</b>	<b>21,353</b>	<b>20,944</b>	<b>△409</b>	
長期・短期借入金	1,020	1,020	0	
退職給付・役員退職引当金	604	542	△61	
その他	2,765	2,769	3	有価証券評価差額金減少による 繰延税金負債減少 192百万円
<b>負 債</b>	<b>4,389</b>	<b>4,332</b>	<b>△57</b>	
<b>純 資 産</b>	<b>16,963</b>	<b>16,612</b>	<b>△351</b>	有価証券評価差額金減少 550百万円 為替換算調整減少 308百万円
<b>負債・純資産合計</b>	<b>21,353</b>	<b>20,944</b>	<b>△409</b>	
自己資本比率	79.4%	79.3%		
1株当たり純資産	1,188円	1,164円		

# 設備投資・減価償却費・研究開発費等

2009/3期 業績の概要



金額単位:百万円

	2008/3期 (実績)	2009/3期 (予想)	2009/3期 (実績)	前期対比	予想対比
設備投資	786	1,984	1,352	565	△631
減価償却費	461	632	635	174	3
(うちのれん償却)	0	89	89	89	0
研究開発費	1,009	1,125	1,041	31	△84
為替レート					
米ドル	100.19	115.00	98.23		
ユーロ	158.19	150.00	129.84		
英ポンド	200.11	225.00	140.45		
中国人民幣元	15.49	16.00	13.20		

\* 為替レートは各期末レートであり、在外子会社財務諸表項目の換算はすべて期末レートによっております。



2009年3月期 連結業績の概要

2010年3月期 連結業績見通し

今後の事業環境及び中長期戦略

# 次期の概要①

2010/3期 連結業績見通し



■ プラス要因 ■ マイナス要因

P/L

- <デンタル> 人工歯類(硬質レジン歯・新型陶材)の投入に加え、化工品類、セメント類、機械器具類などにおける最近発売新製品の市場への浸透に一層注力。**国内デンタル全体では1.2%の微増収**  
<新製品売上高:1,369百万円/単体売上高対比10.3%>
- <ネイル> 新製品「L・E・D GEL Presto」の投入により**268百万円の増収**
- ■ 海外は、中国を除き慎重な計画とし、全体としては現地通貨ベース0.6%の微増収を計画。為替は当期対比円高傾向を予測  
<海外売上高への影響:△256百万円>
- **売上高は16,687百万円(1.0%増収)**
- ■ 国内売上の増収・セールスマックスの好転による効果はあるものの、退職給付費用の増加に加え、積極的な研究開発や販促活動、設備投資に伴う償却費の増加、また、為替の前提を円高に設定していることによる輸出損益の悪化などから  
**営業利益は 1,121百万円(20.7%減益)**  
**経常利益は 1,041百万円(20.7%減益)**  
**当期純利益は 677百万円(14.5%減益)**

## 次期の概要②

2010/3期 連結業績見通し



B/S

国内販売拠点機能の強化、顧客サービスの向上・充実を目指し、  
大阪営業所を移転(2009/3期からの継続)  
設備投資額:178百万円(総額409百万円)

C/F

物流体制の見直しに向けて、  
東京支社物流機能の移転(東日本物流センター化)  
設備投資額:712百万円

上記を含め、設備投資総額は1,418百万円

三井化学株式会社、サンメディカル株式会社との、歯科材料分野における事業力強化を目指した業務・資本提携に伴い、保有する自己株式180万株を、第三者割当により三井化学株式会社に譲渡  
1株当たり730円(2009/5/19終値)／総額1,314百万円  
(詳細は、2009年5月20日発表の「三井化学株式会社及びサンメディカル株式会社との業務・資本提携に関するお知らせ」及び「第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ」をご参照ください。)

# 主要指標比較

2010/3期 連結業績見通し



## 2010/3期: 增收・減益

単位: 百万円、%

	金額 (対売上率)	金額 (対売上率)	金額 (率)
売上高	16,526 (100.0)	16,687 (100.0)	160 (1.0)
（国内売上高）	12,674 (76.7)	13,076 (78.4)	402 (3.2)
（海外売上高）	3,852 (23.3)	3,611 (21.6)	△241 (△6.3)
営業利益	1,414 (8.6)	1,121 (6.7)	△293 (△20.7)
経常利益	1,313 (7.9)	1,041 (6.2)	△272 (△20.7)
当期純利益	793 (4.8)	677 (4.1)	△115 (△14.5)
1株当たり当期純利益	55.57円	42.18円	
自己資本当期純利益率	4.72%	3.90%	

\* 2010/3期予想1株当たり当期純利益、自己資本当期純利益率は、第三者割当による自己株式の処分を反映した株式数、自己資本額に基づき算定しております。

# 製品分類別売上高

2010/3期 連結業績見通し



金額単位:百万円、( )内は増減率、単位%

	2009/3期 実績	2010/3期 予想	当期実績対比		
			国内	海外	
人工歯類	2,769	2,706	△63 (△2.3)	49	△113
研削材類	3,510	3,347	△162 (△4.6)	0	△163
金属類	431	381	△49 (△11.5)	△48	△1
化工品類	2,980	3,263	282 (9.5)	173	109
セメント類他	1,611	1,560	△51 (△3.2)	△9	△41
機械器具類その他	3,369	3,306	△62 (△1.9)	△38	△24
歯科事業計	14,673	14,566	△107 (△0.7)	127	△234
ネイル事業	1,773	2,035	261 (14.8)	268	△6
その他	79	85	6 (8.0)	6	0
合計	16,526	16,687	160 (1.0)	402	△241

海外売上高における為替変動の影響額は、△256百万円であります。  
(米ドル、ユーロ、英ポンド、中国人民元)

# 国内売上高

2010/3期 連結業績見通し

金額単位:百万円 SHOFU

## ◇ デンタル事業

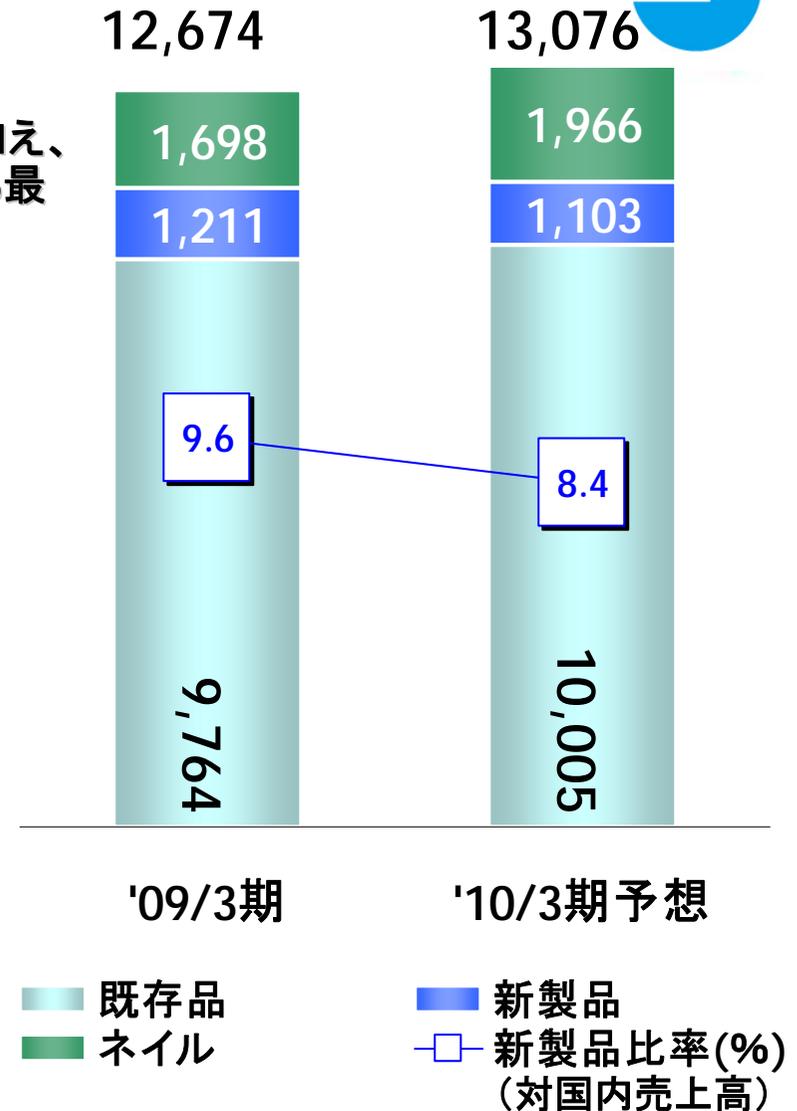
- 人工歯類(硬質レジン歯・新型陶材)の投入に加え、化工品類、セメント類、機械器具類などにおける最近発売新製品の市場への浸透に一層注力

## ◇ ネイル事業

- 新製品「L・E・D GEL Presto」の投入により268百万円の増収

## ◇ 最近における主な新製品

- 光重合型コンポジットレジン(充填修復材料)「ビューティフィルⅡ」
- 光重合型ボンディング材「フルオロボンドⅡ」
- 歯科汎用アクリル系レジン「プロビナイス ファスト」
- デジタル口腔撮影装置「アイスペシャルC-Ⅰ」
- 歯科用象牙質接着材「ビューティボンド」
- 歯科重合用LED光照射器「ブルーショット」
- 歯面コーティング材「ビューティコート」



# 海外売上高

2010/3期 連結業績見通し



## 概要

- 中国を除く全体として慎重な見通し
- 現地通貨ベース伸び率
 

北米・中南米	0.3%
欧州	1.6%
中国	24.4%
その他アジア・オセアニア	△8.9%
海外売上高計	0.4%

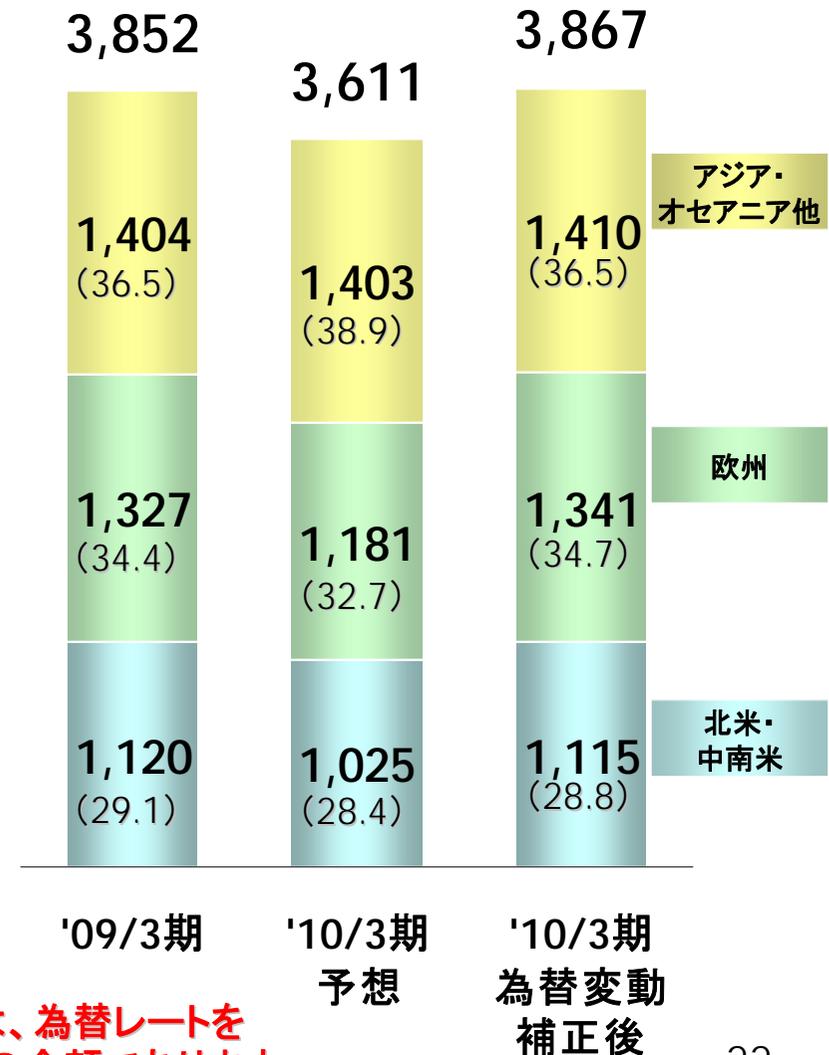
## 為替レート

- 米ドル 90円←前期 98.23円  
(影響 △ 85百万円)
- ユーロ 115円←前期 129.84円  
(影響 △ 160百万円)

## (デンタル)海外売上高比率

- 24.3% (前期 25.7%)  
(為替変動補正後 25.6%)

金額単位:百万円、( )内は構成比率(%)



\* 為替変動補正後の予想値は、為替レートを2009/3期と同一とした場合の金額であります。

# 営業利益の変動要因

2010/3期 連結業績見通し



金額単位: 百万円

2009/3期 営業利益

①売上高の増加(数量ベース)

②売上原価率の上昇

③(販管費)人件費の増加

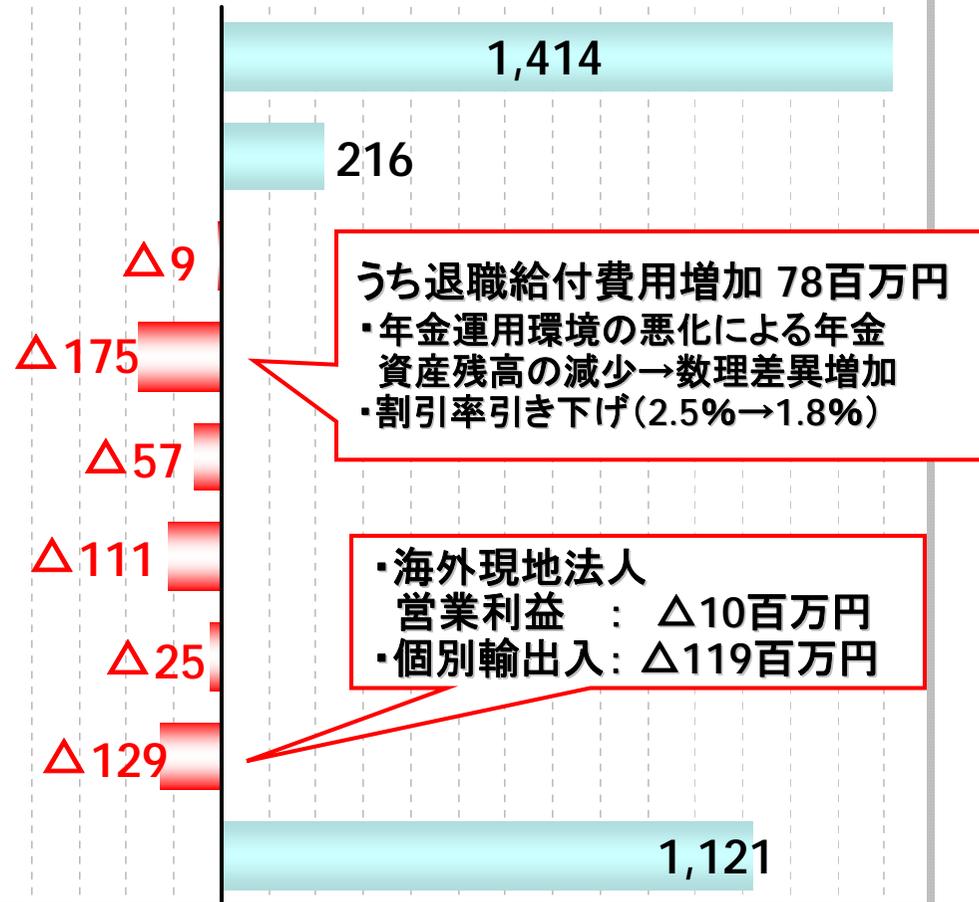
④(販管費)減価償却費の増加

⑤(販管費)研究開発費の増加

⑥(販管費)その他経費の増加

⑦為替変動による影響

2010/3期 営業利益



うち退職給付費用増加 78百万円  
 ・年金運用環境の悪化による年金資産残高の減少→数理差異増加  
 ・割引率引き下げ(2.5%→1.8%)

・海外現地法人  
 営業利益 : △10百万円  
 ・個別輸出入: △119百万円

\* ①～⑥の変動要因は、為替変動による影響を除いた数値であります。

# 財政状態～貸借対照表主要科目

2010/3期 連結業績見通し



金額単位:百万円

	'09/3期	'10/3期 予想	対比	主な変動要因・特記事項
現金預金	4,694	5,556	861	自己株式処分、設備投資
受取手形・売掛金	2,490	2,510	19	
棚卸資産	3,146	2,995	△151	設備投資
有価証券・投資有価証券	2,843	2,672	△170	
その他	7,769	8,772	1,003	
<b>資 産</b>	<b>20,944</b>	<b>22,506</b>	<b>1,562</b>	
長期・短期借入金	1,020	1,020	0	
退職給付・役員退職引当金	542	609	66	
その他	2,769	2,727	△41	
<b>負 債</b>	<b>4,332</b>	<b>4,357</b>	<b>25</b>	
<b>純 資 産</b>	<b>16,612</b>	<b>18,149</b>	<b>1,537</b>	自己株式処分 1,314百万円
<b>負債・純資産合計</b>	<b>20,944</b>	<b>22,506</b>	<b>1,562</b>	
自己資本比率	79.3%	80.6%		
1株当たり純資産	1,164円	1,129円		

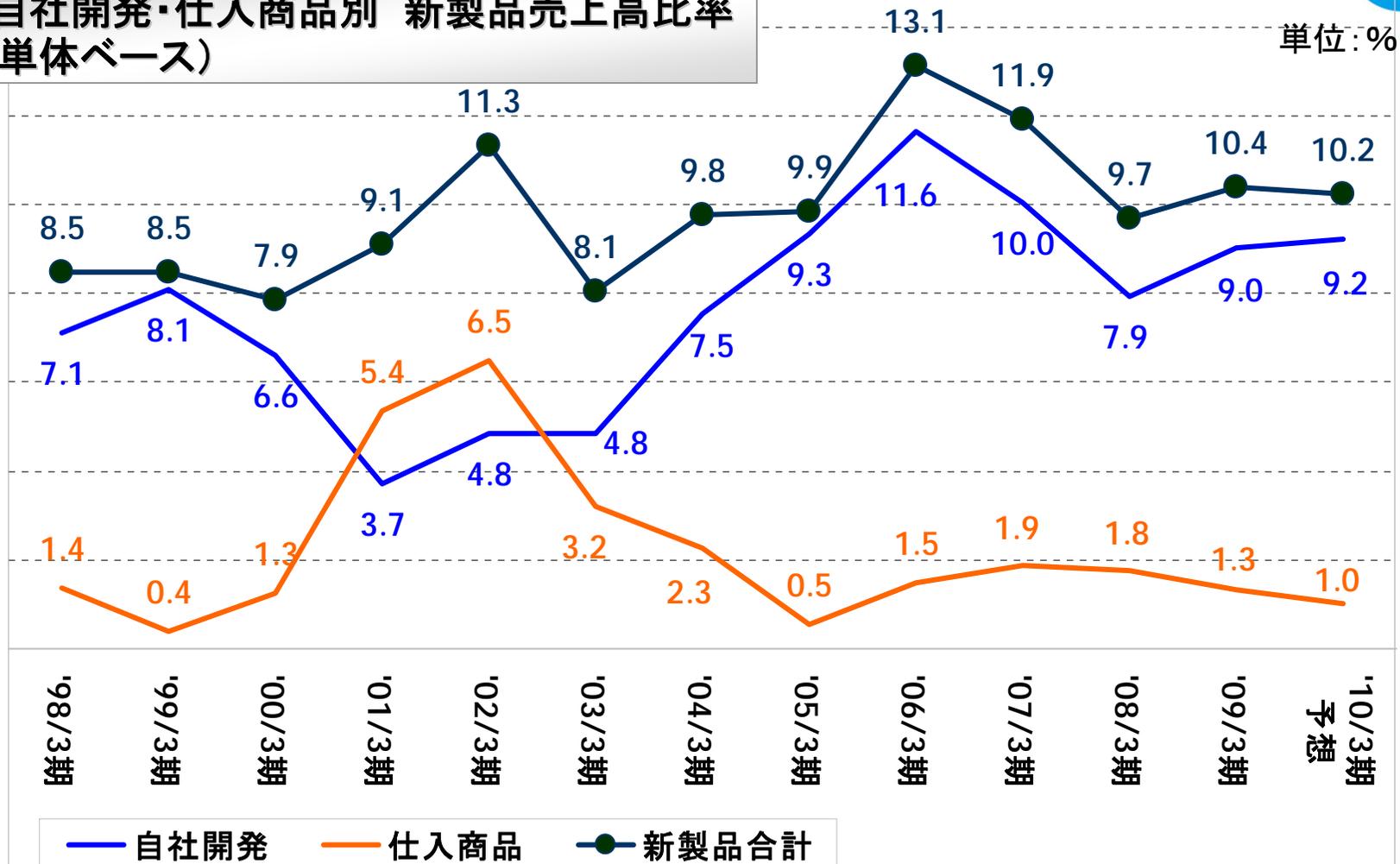
\* 2010/3期予想自己資本比率、1株当たり純資産は、第三者割当による自己株式の処分を反映した株式数、自己資本額に基づき算定しております。

# 新製品売上高の推移

2010/3期 連結業績見通し



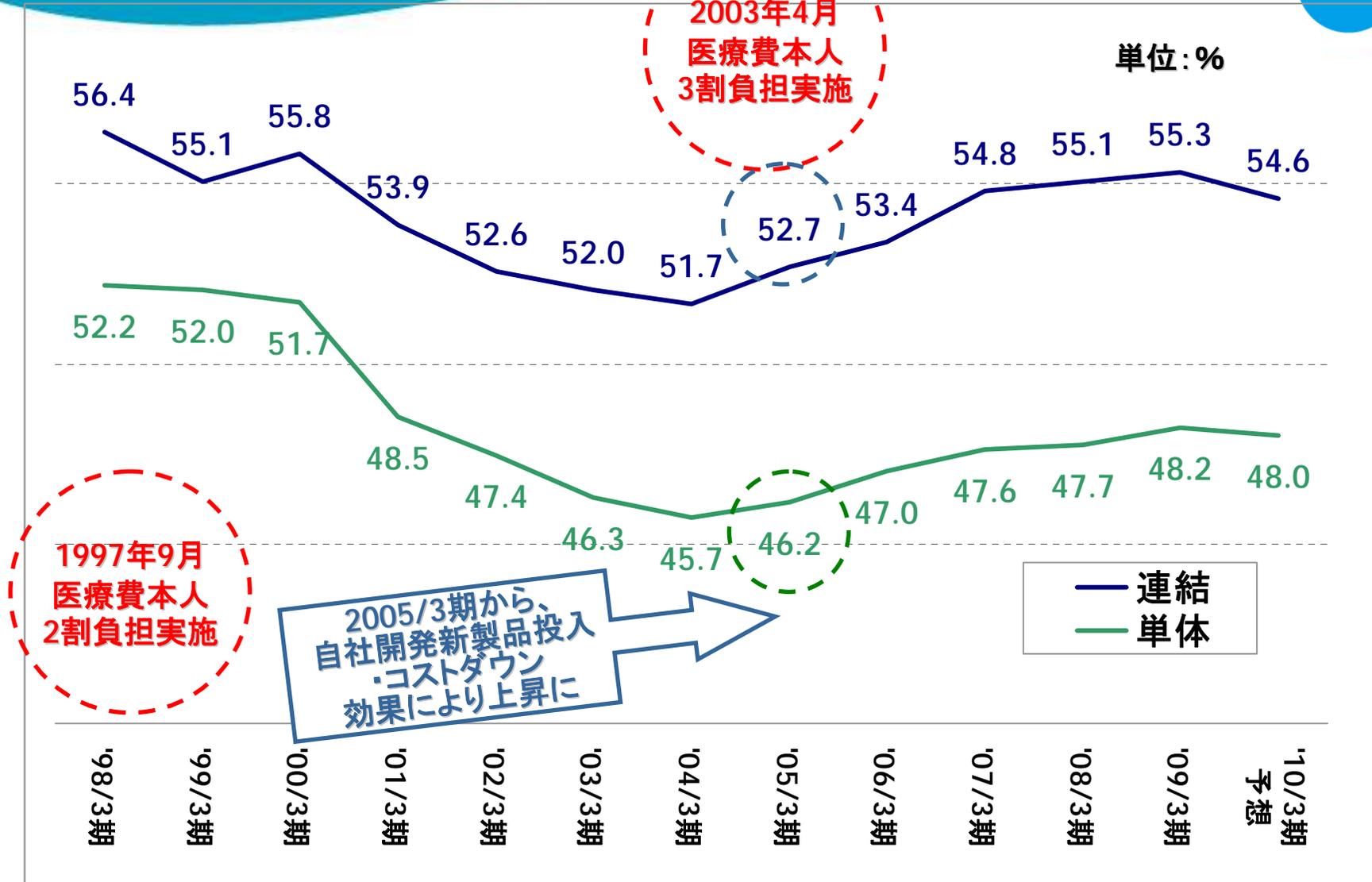
自社開発・仕入商品別 新製品売上高比率  
(単体ベース)



仕入商品の主なもの…ジョンソン&ジョンソン社商品、EMS社超音波スケーラー、根管治療器具(リーマー・ファイル)など

# 粗利益率の推移

2010/3期 連結業績見通し



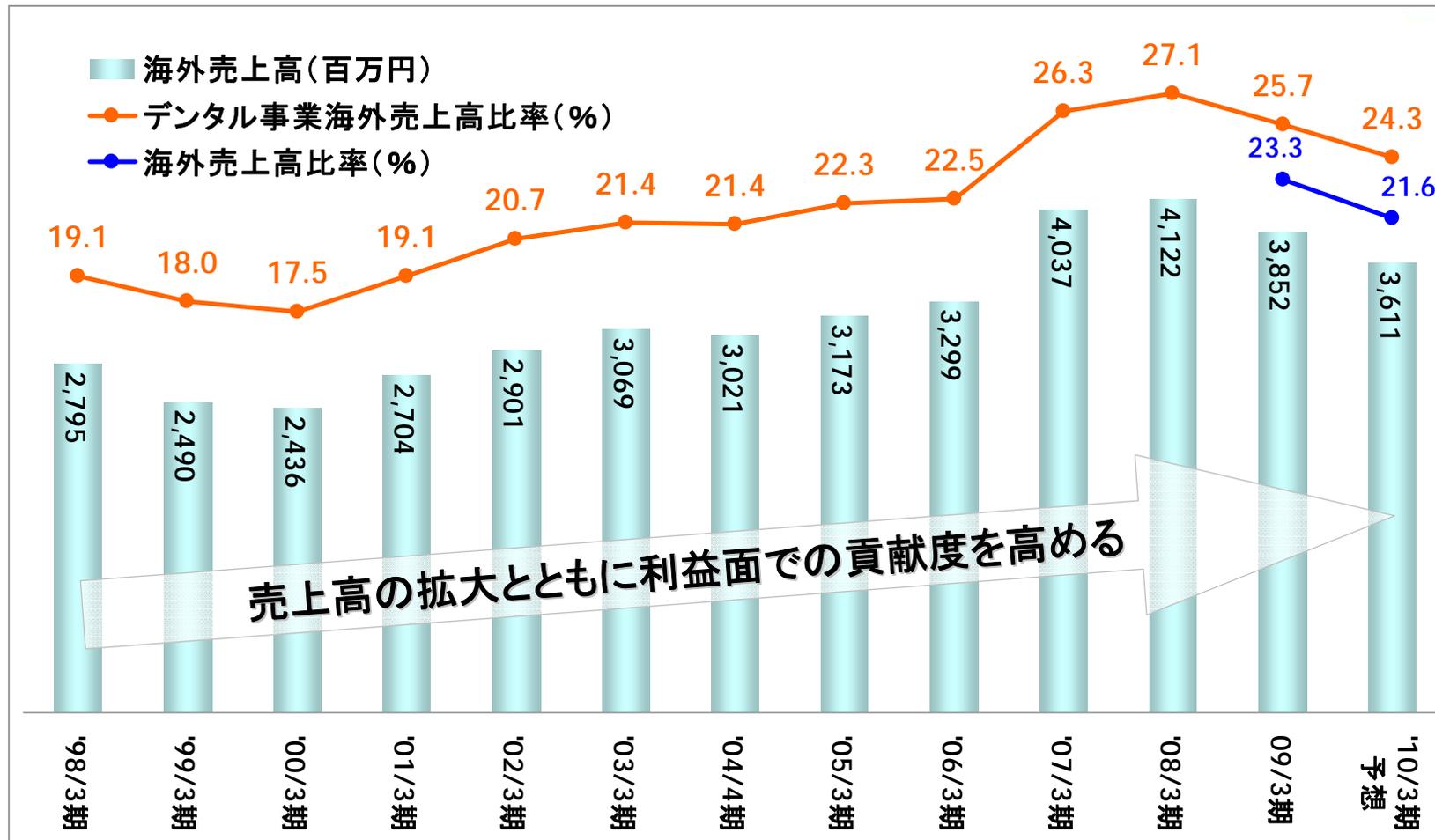
1997年9月  
医療費本人  
2割負担実施

2003年4月  
医療費本人  
3割負担実施

2005/3期から、  
自社開発新製品投入  
・コストダウン  
効果により上昇に

# 海外売上高・海外売上高比率推移

2010/3期 連結業績見通し

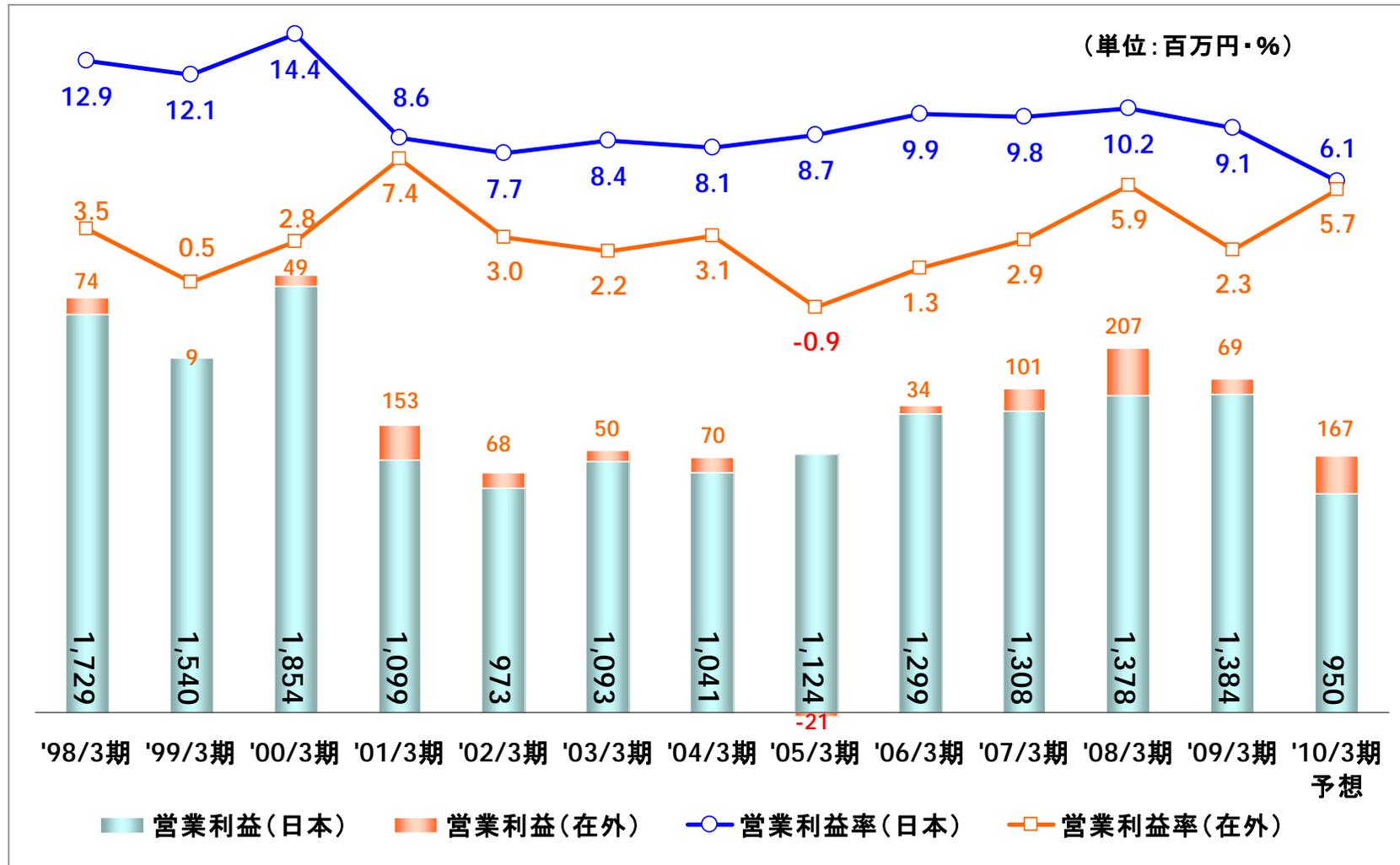


売上高の拡大とともに利益面での貢献度を高める

\* 2009/3期以降、(株)ネイルラボの子会社化による国内ネイル事業の売上高が増加したため、デンタル事業海外売上高比率と、全事業の海外売上高比率を表示しております。

# 所在地別セグメント(営業利益)

2010/3期 連結業績見通し





2009年3月期 連結業績の概要

2010年3月期 連結業績見通し

今後の事業環境及び中長期戦略



2008年9月19日 厚生労働省

## わが国発の革新的医療機器の提供 世界の患者の保健医療水準の向上に寄与

魅力ある医療機器  
開発環境の実現

国際競争力の強化

### 環境の変化

- 医療工学技術の高度化と多様化・最先端医療への応用
- グローバル化の進展と国際競争の激化
- 医療安全対策の必要性
- 保険医療
  - ・ 医療費の増大
  - ・ 内外価格差
  - ・ 革新的な技術の適正評価
- 国民ニーズの変化

### アクションプラン

- 研究開発に対する支援
- ベンチャー支援等
- 治験等の臨床研究の推進
- アジアとの連携
- 薬事制度の改善
- 医療保険における医療機器・医療技術の適正評価
- 市販後における適切な情報提供及びサービスの提供
- 流通機能の効率化・高度化
- 医療の情報化
- 官民対話
- その他

歯科における  
キーワードも多い

国民に対する啓発活動の推進／海外進出の支援  
臨床工学技士の資質の向上と活用の推進  
医療機器産業振興を扱う専門部署の設置等の体制強化

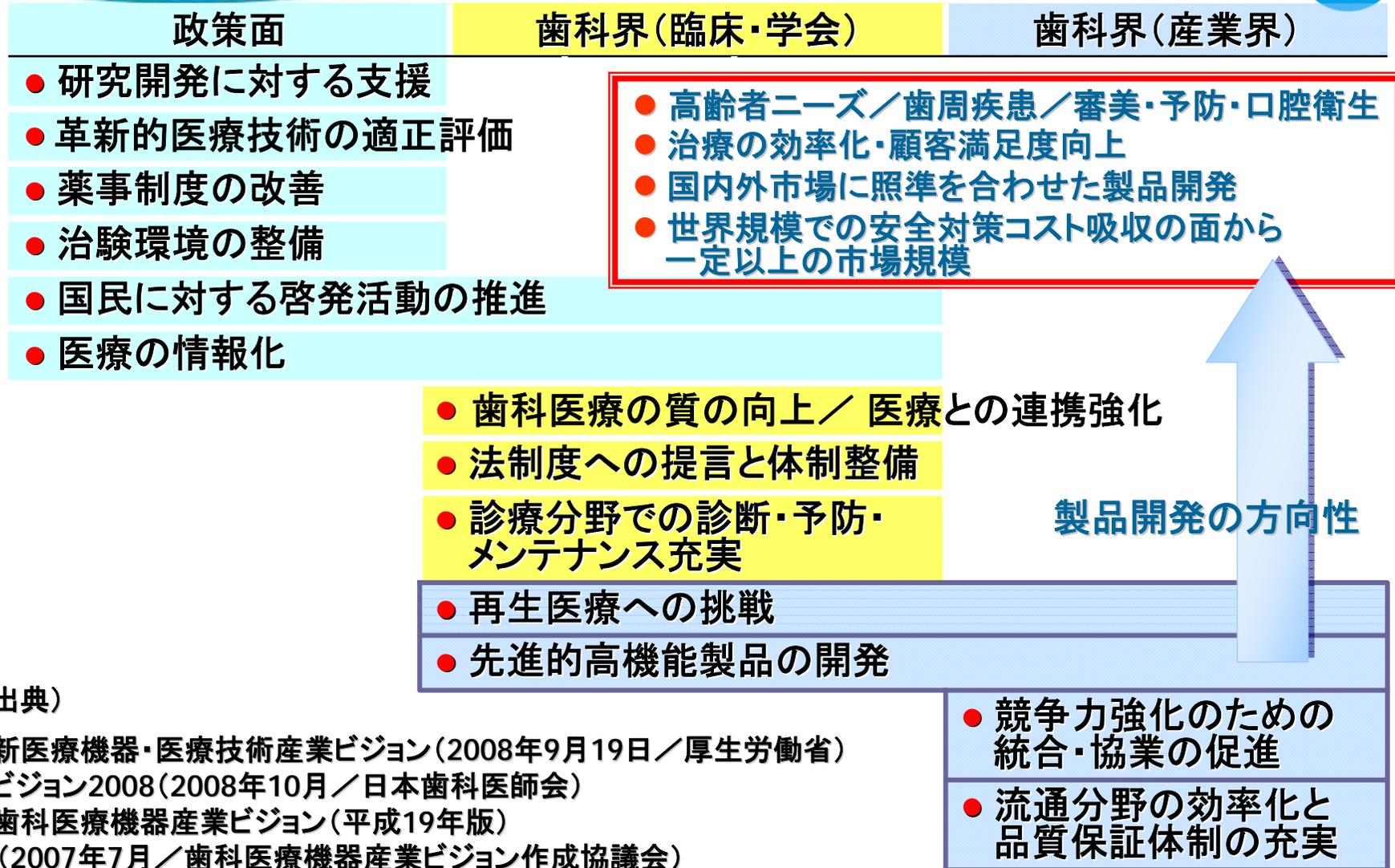
# 事業環境の認識—需要・政策・市場

事業環境・中長期戦略



	 プラス要因	 マイナス要因
人口の高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 潜在患者数の増加</li> <li>● 予防進展による 残存歯増加と治療・検診機会の増加</li> <li>● 全身疾患の予防側面からの需要拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 総人口の減少</li> </ul>
歯科疾病の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 審美・予防・口腔衛生意識の高まりと需要の拡大</li> <li>● 健康保険枠外市場の拡大（公平性に加え個別性の拡大）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● う蝕治療の減少による関連材料消費の縮小</li> </ul>
医療費抑制政策の進展	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療費抑制効果のある製品・サービスに成長の可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人負担増大による受診抑制</li> </ul>
安全対策面での規制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質保証レベルの優劣顕在化による淘汰の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コストアップ</li> </ul>
業界全域での供給過剰構造		<ul style="list-style-type: none"> <li>● メーカー・流通・歯科医院・技工士の供給過剰による過当競争進展</li> <li>● 医院経営における低価格要求度の高まり</li> </ul>
グローバル化の進展	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外メーカーとの品質競争による研究開発・製品開発力のレベルアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知財リスクの拡大</li> </ul>

# 環境要因への対応・歯科界の課題



(出典)

- ・新医療機器・医療技術産業ビジョン(2008年9月19日／厚生労働省)
- ・ビジョン2008(2008年10月／日本歯科医師会)
- ・歯科医療機器産業ビジョン(平成19年版)  
(2007年7月／歯科医療機器産業ビジョン作成協議会)



## ⇒ 強化すべき機能

- 品質競争力
- マーケティング力
- 価格競争力

## ⇒ 全社目標・数値目標

- ◆ グローバル・マーケティング機能の強化と  
新製品・新技術による需要の創造・シェアアップ  
【数値目標:新製品売上高比率 15%】
- ◆ 新製品による人工歯類の回復と  
コンポジットレジン／ボンディング分野でのシェア拡大  
【数値目標:シェアトップ3】
- ◆ 海外事業の拡大  
【数値目標:デンタル事業海外売上高比率 30%】
- ◆ 需要増加への対応及びコストダウンに向けた生産拠点の再配置  
【コストダウン目標:自社製品原価率を131期比20%低減】

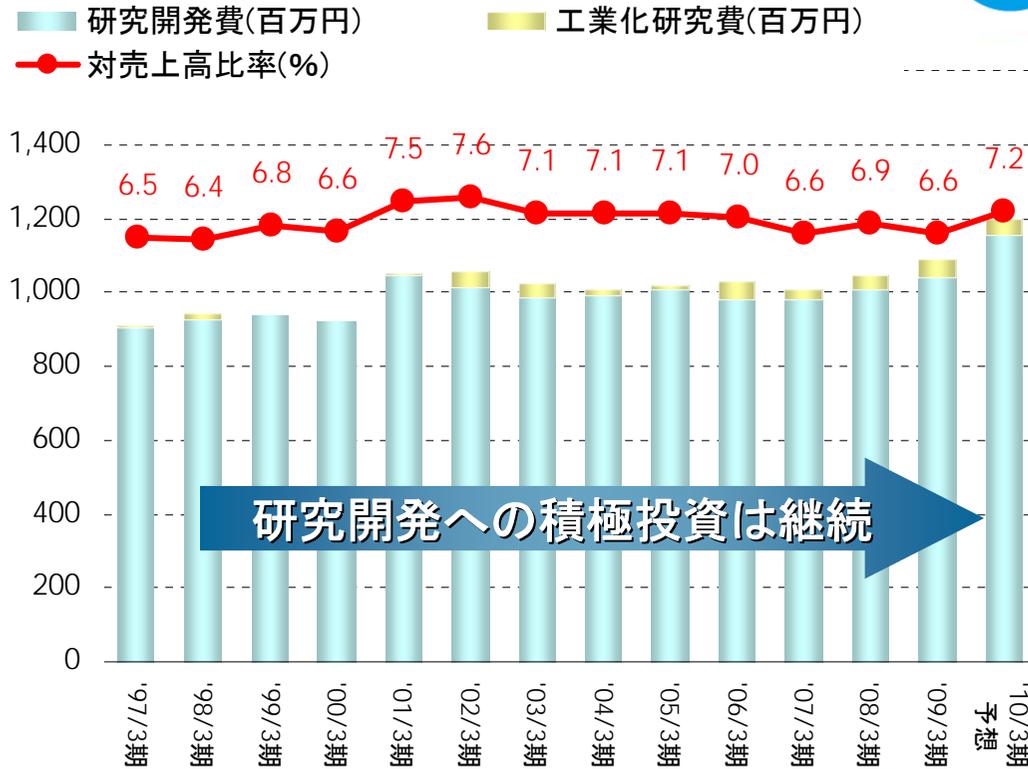
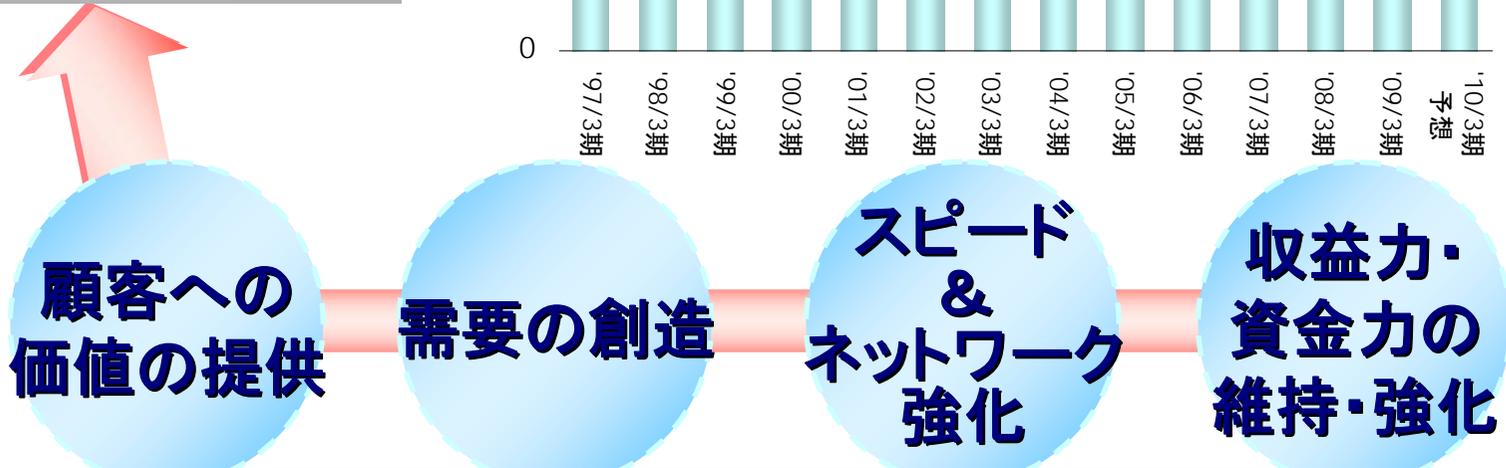
**連結営業利益率10%への回復→長期的に15%を目指す**

# 具体的な取り組み——研究開発

事業環境・中長期戦略



- ⇒ 品質競争力
- ⇒ マーケティング力
- ⇒ 価格競争力



研究開発への積極投資は継続

# 具体的な取り組み——生産



## ⇒ 生産技術の継承と継続的な向上

- 定年退職者増加に伴う技術の継承と省力化策

## ⇒ 生産・物流の効率化と顧客サービスの向上

- 新生産システムによる生産・物流効率の向上
- 改正薬事法・トレーサビリティ体制の確立

## ⇒ 需要増加への対応及びコストダウンに向けた生産拠点の再配置

- 現場単位のコストダウン・プロジェクト推進

品質競争力の強化

価格競争力の強化

コストダウン  
自社生産原価率  
20%低減

原価率低減効果('03/3期→'09/3期実績)  
・・ 自社生産原価率7.0P低下、534百万円

# 具体的な取り組み——国内事業

事業環境・中長期戦略

SHOFU

## ⇒ 既存分野におけるシェア拡大

- 人工歯 ● 研削材 ● 充填修復材料
- 歯冠用硬質レジン ● 合着・接着材料

最重点  
目標

新製品による人工歯類の回復と、  
コンポジットレジンボンディング分野(充填修復材)  
でのシェア拡大

## ⇒ 新規分野における市場創出

- 審美—— (例)ホワイトニング・矯正
- 予防・口腔衛生—(例)PMTC
- 再生医療—— (例)骨充填材の製品化
- 歯周病関連—— (例)歯周病診断キット
- インプラント事業への取り組み

顧客指向  
の徹底

マーケティング  
力の強化

弾力的・  
効率的な  
販売政策

※ PMTC (Professional Mechanical Tooth Cleaning) (専門家による機械的歯面清掃)

# 具体的な取り組み——海外事業

事業環境・中長期戦略



## ⇒ アメリカ

- 輸出市場開拓—ブラジル・メキシコ
- 器材評価機関への活動強化

## ⇒ ヨーロッパ

- 人工歯(レジン歯)市場への参入
- 東欧市場の開拓

## ⇒ アジア

- 中国市場拡大に向けた取り組み
  - ◆ 生産:人工歯・研削材輸出開始→生産品目拡大
  - ◆ 販売:販売品目の拡大
- インド・ベトナム市場の開拓に向けた取組み開始

マーケティング  
機能強化

新製品投入  
に向けた  
戦略的活動

### 【重点商品】

- ・陶材
- ・歯冠用硬質レジン
- ・充填修復材料

# 具体的な取り組み——ネイル事業

事業環境・中長期戦略



⇒ 「Presto」によるL・E・D GEL市場の確保

⇒ 海外市場におけるシェア拡大  
—米国・欧州・韓国・中国



⇒ 新規材料・関連機器の開発と市場獲得

⇒ 販売計画

'10/3期 20億円 ⇒ '11/3期 23億円 ⇒ '12/3期 26億円

- 2008年2月 ネイル業界第3位の商社(株)ネイルラボの株式を取得・子会社化（投資総額約11億円）
- 開発(松風)→生産(プロメック)  
→販売(ネイルラボ)までの一貫体制を確立

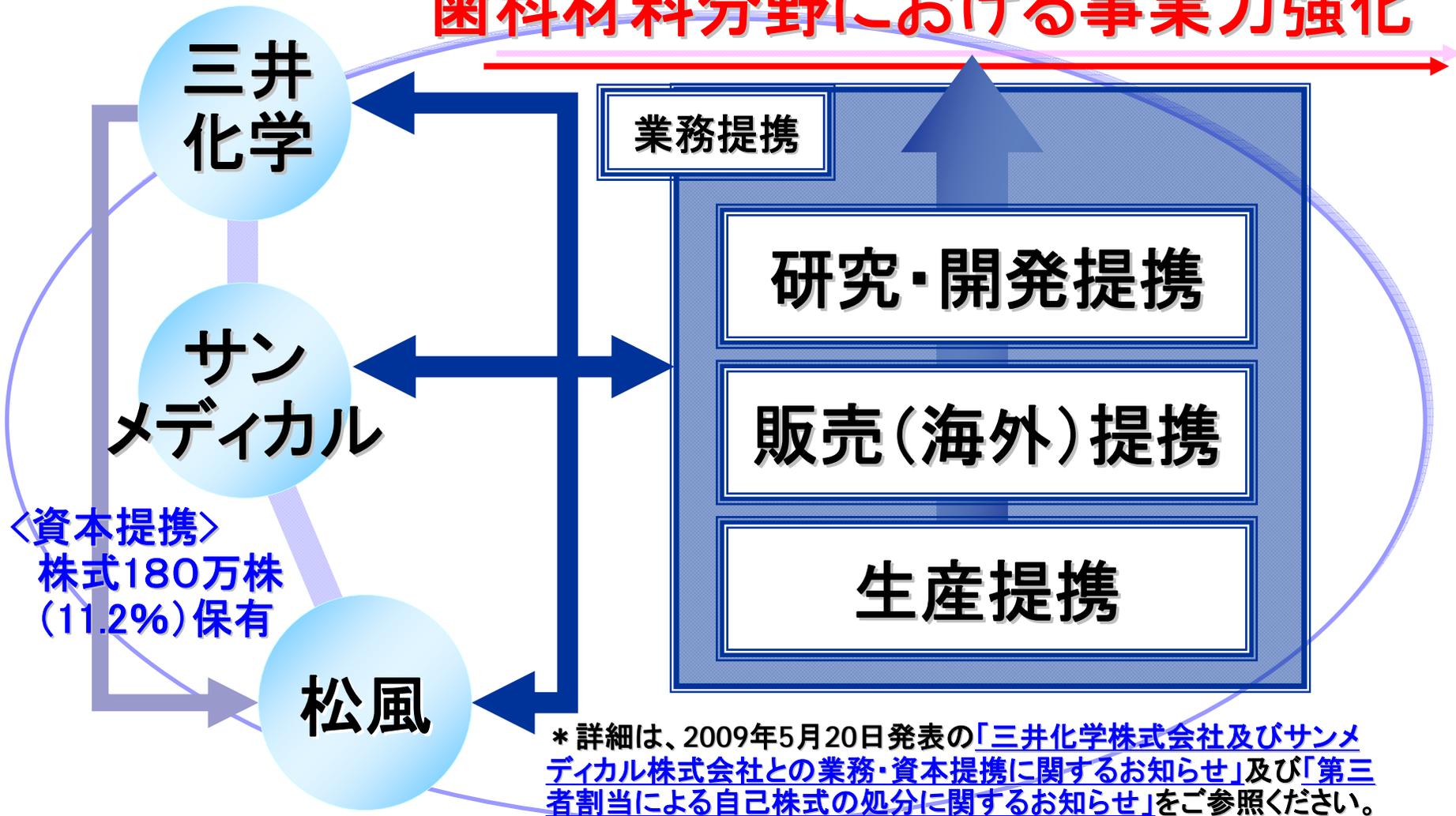
歯科材料における研究開発力・生産技術力を活かしネイル事業の拡大をはかる



# 三井化学・サンメディカルとの 業務・資本提携



## 歯科材料分野における事業力強化



\* 詳細は、2009年5月20日発表の「三井化学株式会社及びサンメディカル株式会社との業務・資本提携に関するお知らせ」及び「第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ」をご参照ください。



2012/3期  
までの  
必達目標

## グループ売上高 180億円の達成

- グローバル・マーケティング機能の強化と  
新製品・新技術による需要の創造・シェアアップ  
【数値目標:新製品売上高比率 15%】
- 新製品による人工歯類の回復と、  
コンポジットレジン/ボンディング分野でのシェア拡大  
【数値目標:シェアトップ3】
- 海外事業の拡大  
【数値目標:デンタル事業海外売上高比率 30%】
- 需要増加への対応及びコストダウン(CD)に向けた  
生産拠点再配置  
【CD目標:自社製品原価率を2003/3期比20%低減】

# 中期経営計画—主要数値目標

事業環境・中長期戦略



★…過去最高

単位：百万円、%

	2009/3期 実績	2010/3期	2011/3期	2012/3期
売上高 (前期比)	★ 16,526 (8.6%)	★ 16,687 (1.0%)	★ 17,357 (4.0%)	★ 18,174 (4.7%)
国内売上高 (前期比)	★ 12,674 (14.3%)	★ 13,076 (3.2%)	★ 13,411 (2.6%)	★ 13,915 (3.8%)
海外売上高 (前期比)	3,852 (△6.5%)	3,611 (△6.3%)	3,945 (9.3%)	★ 4,258 (7.9%)
営業利益 (対売上率)	1,414 (8.6%)	1,121 (6.7%)	1,371 (7.9%)	1,749 (9.6%)
経常利益 (対売上率)	1,313 (7.9%)	1,041 (6.2%)	1,295 (7.5%)	1,671 (9.2%)
当期純利益 (対売上率)	793 (4.8%)	677 (4.1%)	798 (4.6%)	★ 1,044 (5.7%)
1株当たり当期純利益	55.57円	42.18円	49.70円	64.99円
自己資本当期純利益率	4.7%	3.9%	4.3%	5.5%
(デンタル)海外売上高比率	25.7%	24.3%	25.7%	26.5%

\* 2010/3期以降の1株当たり当期純利益、同自己資本当期純利益率は、第三者割当による自己株式の処分を反映した株式数、自己資本額に基づき算定しております。

# 中期経営計画 事業別セグメント(売上高・営業利益)

事業環境・中長期戦略



単位:百万円、%

	2009/3期 実績		2010/3期		2011/3期		2012/3期	
	金額	率	金額	率	金額	率	金額	率
デンタル事業	14,673	88.8	14,566	87.3	14,959	86.2	15,479	85.2
ネイル事業	1,773	10.7	2,035	12.2	2,308	13.3	2,602	14.3
その他の事業	79	0.5	85	0.5	90	0.5	92	0.5
<b>売上高</b>	<b>16,526</b>	<b>100.0</b>	<b>16,687</b>	<b>100.0</b>	<b>17,357</b>	<b>100.0</b>	<b>18,174</b>	<b>100.0</b>

デンタル事業	1,359	9.3	991	6.8	1,171	7.8	1,478	9.5
ネイル事業	37	2.1	110	5.4	178	7.8	249	9.6
その他の事業	17	21.5	19	22.6	20	23.1	21	23.3
<b>営業利益</b>	<b>1,414</b>	<b>8.6</b>	<b>1,121</b>	<b>6.7</b>	<b>1,371</b>	<b>7.9</b>	<b>1,749</b>	<b>9.6</b>

# 中期経営計画 所在地別セグメント(売上高・営業利益)



単位:百万円、%

		2009/3期 実績	2010/3期	2011/3期	2012/3期
日 本	売上高	15,214	15,463	16,089	16,805
	営業利益 (対売上率)	1,384 (9.1%)	950 (6.1%)	1,108 (6.9%)	1,394 (8.3%)
ア メ リ カ	売上高	1,092	1,026	1,115	1,205
	営業利益 (対売上率)	24 (2.3%)	37 (3.6%)	84 (7.6%)	127 (10.6%)
欧 州	売上高	1,466	1,291	1,320	1,351
	営業利益 (対売上率)	<b>△2</b> (△0.2%)	64 (5.0%)	74 (5.7%)	82 (6.1%)
ア ジ ア	売上高	524	615	781	942
	営業利益 (対売上率)	47 (9.1%)	65 (10.7%)	99 (12.7%)	140 (14.9%)
在 外 合 計	売上高	3,083	2,933	3,217	3,499
	営業利益 (対売上率)	69 (2.3%)	167 (5.7%)	259 (8.1%)	350 (10.0%)
連結消去前 合 計	売上高	18,298	18,397	19,307	20,305
	営業利益 (対売上率)	1,454 (7.9%)	1,117 (6.1%)	1,367 (7.1%)	1,745 (8.6%)

# 中期経営計画

## 設備投資・減価償却費・研究開発費



単位：百万円

	2009/3期 (実績)	2010/3期	2011/3期	2012/3期
設備投資	1,352	1,418	593	618
減価償却費	635	744	768	794
(うちのれん償却)	89	89	89	89
研究開発費	1,041	1,153	1,139	1,182

### ◇ 2010/3期設備投資計画の主な内訳

- 物流拠点の整備 712百万円
- 営業拠点機能の整備 178百万円

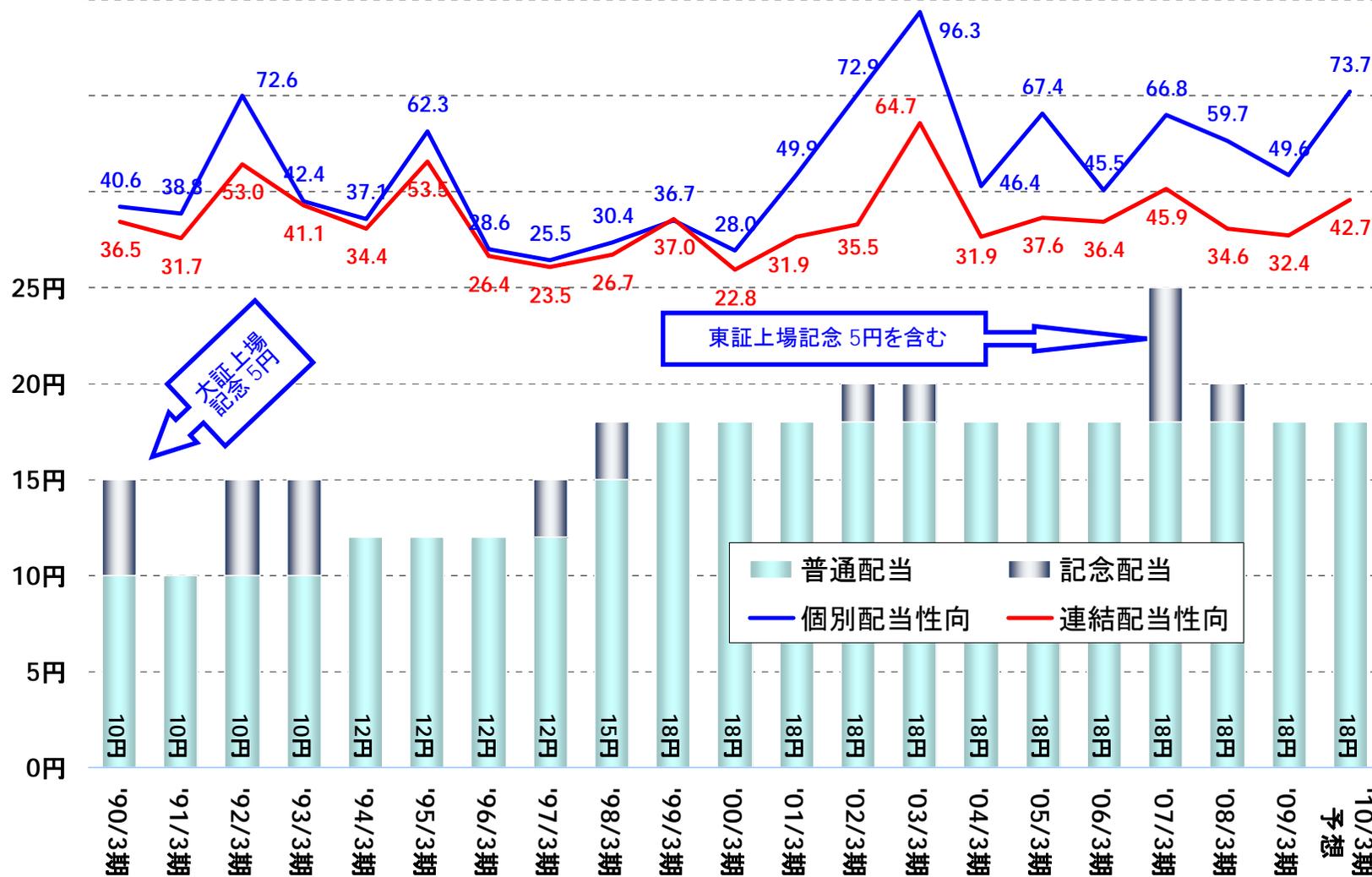
### ◇ 中期計画において見込まれていない案件(今後の課題)

- 西日本物流センター
- 本社工場、国内外生産子会社を含めた生産拠点の拡充・再配置
- グループ基幹システム
- ネイル事業

# 配当政策

◎ 目標配当性向 30%以上  
 ◎ 上場以降の平均連結配当性向: 34.6%  
 ('90/3期~'09/3期加重平均)

事業環境・中長期戦略



\* 2010/3期予想配当性向は、第三者割当による自己株式の処分を反映した株式数に基づき算定しております。

# 新経営体制(常務以上)



\* 2009年6月25日株主総会後の取締役会において正式決議(予定)

新職	氏名	現職
取締役会長 (代表取締役)	太田 勝也 (64才)	取締役社長 (代表取締役)
取締役社長 (代表取締役)	根來 紀行 (53才)	常務取締役
取締役副社長 (代表取締役)	脇野 喜和 (63才)	専務取締役 (代表取締役)
取締役副社長	白波瀬 文雄 (65才)	専務取締役
専務取締役	関 敏明 (62才)	常務取締役
常務取締役	西田 喜直 (58才)	常務取締役



本資料における予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

株式会社 松 風

〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11番地

TEL 075-561-1112

FAX 075-561-1227

URL <http://www.shofu.co.jp>

E-MAIL [ir@shofu.co.jp](mailto:ir@shofu.co.jp)

お問合せ先 総合企画部





以下のページはご参考資料として作成しているもので  
本説明会でのご説明は省略させていただきます。

## 会社及び事業の概要

# 会社の概要

☉ 会社及び事業の概要



(2009年3月31日現在)

■ 会社名	株式会社 松風 (SHOFU Inc.)
■ 代表者	取締役社長 太田 勝也
■ 所在地	京都市東山区福稲上高松町11番地
■ 設立	大正11年(1922年)5月15日
■ 資本金	4,474,646,614円
■ 発行済株式総数	16,114,089株
■ 上場取引所	東京証券取引所(第二部)(2007/2/15上場) 大阪証券取引所(第二部)(1989/11/9上場)
■ 従業員数	428名(グループ:760名、うち海外206名)
■ 事業内容	歯科器材の製造販売
■ 主要販売先	(代理店経由) 歯科医療機関
■ グループ会社	11社(国内4社・海外7社) デンタル事業 9社(国内3社・海外6社) ネイル事業 2社(国内1社・海外1社)

# 主要取り扱い製品

会社及び事業の概要



## 歯科医療に使用される材料・機器 全般の製造販売

### 人工歯類



- 陶歯・陶材・レジン歯

### 化工品類



- 合成樹脂製品
- 印象材
- ワックス製品

### 研削材類



- ダイヤモンド研削材
- カーボランダム研削材
- シリコン研磨材
- その他切削・研磨材
- 工業用研削材類

### セメント類他



- 歯科用セメント
- 石膏・埋没材製品

### 金属類



- 铸造用金合金・銀合金
- その他金属

### 機械器具類その他



- 歯科用機器
- オーラルケア・感染予防製品
- 矯正材料
- 美容・健康器具
- その他

歯科治療の過程で当社の製品をご使用  
いただいております。

SHOFU INC.

別添「製品プロフィール」をご参照ください

# 会社の沿革

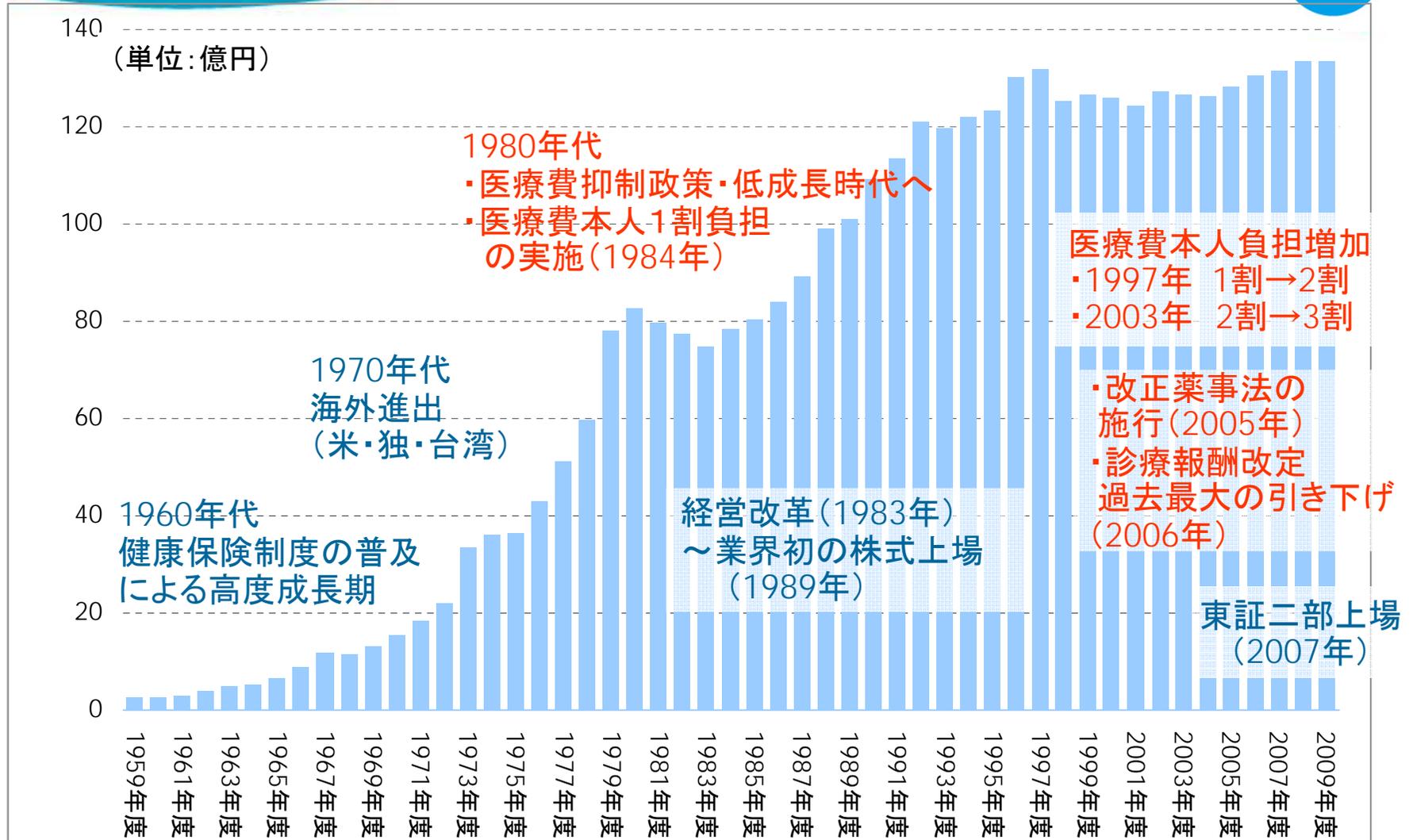
☉ 会社及び事業の概要



• 1922	松風陶歯製造株式会社設立、国産初の人工歯を開発、発売
• 1963	株式店頭登録
• 1971～1978	米国・ドイツに販売会社を設立／台湾でのレジン歯生産開始 (株)滋賀松風設立、レジン歯の生産を移管
• 1983	(株)松風に社名変更、経営改革に着手
• 1989	大阪証券取引所(市場第二部)上場
• 1990～1997	英国における研究開発・生産会社設置(買収)及び販売会社設立 英国品質保証規格(GMP)の認証取得、CEマーキング認証取得
• 1996	(株)プロメック設立／上海駐在員事務所開設
• 1997	創立75周年記念事業の一環として業界最大規模の研究所を建設
• 2002～2003	創立80周年／北京駐在員事務所開設 環境マネジメントシステム(ISO14001)認証取得(本社・全社) 中国(上海)での生産拠点 上海松風歯科材料有限公司設立
• 2005	株式交換により、(株)昭研を完全子会社化 中国での販売拠点 松風歯科器材(上海)有限公司を設立
• 2006	顧客サービスの向上を目指した研修センター竣工
• 2007	創立85周年／東京証券取引所(市場第二部)上場
• 2008	(株)ネイルラボ株式取得・子会社化 大証J-NET市場における自己株式取得取引により160万株の自己株式取得
• 2009	三井化学(株)、サンメディカル(株)との業務・資本提携に関する基本合意 三井化学(株)に対する第三者割当による自己株式180万株の譲渡(予定) 大阪証券取引所の上場廃止(予定)

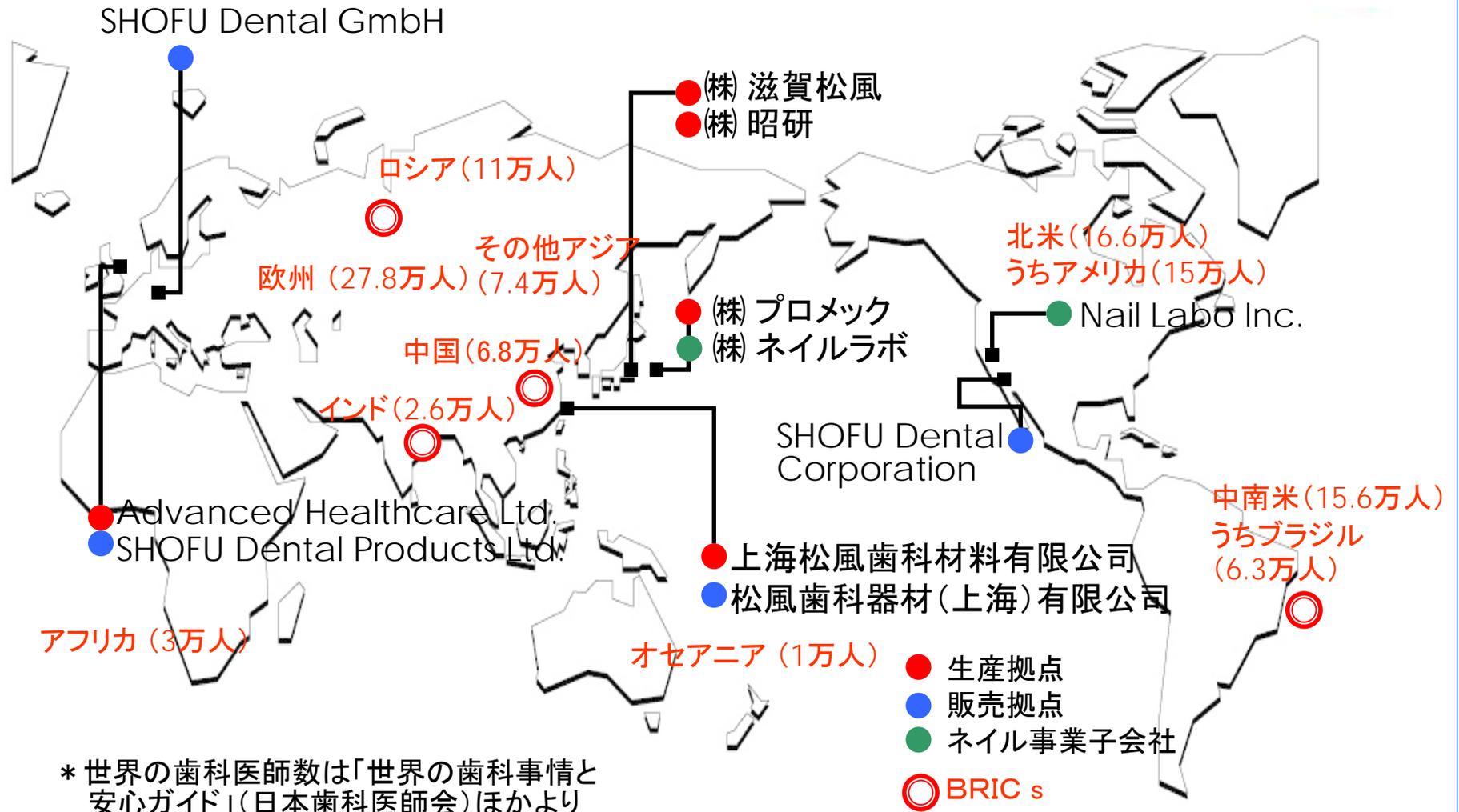
# 会社の沿革～売上高の推移

◎ 会社及び事業の概要



# グループの概要と世界の歯科医師数

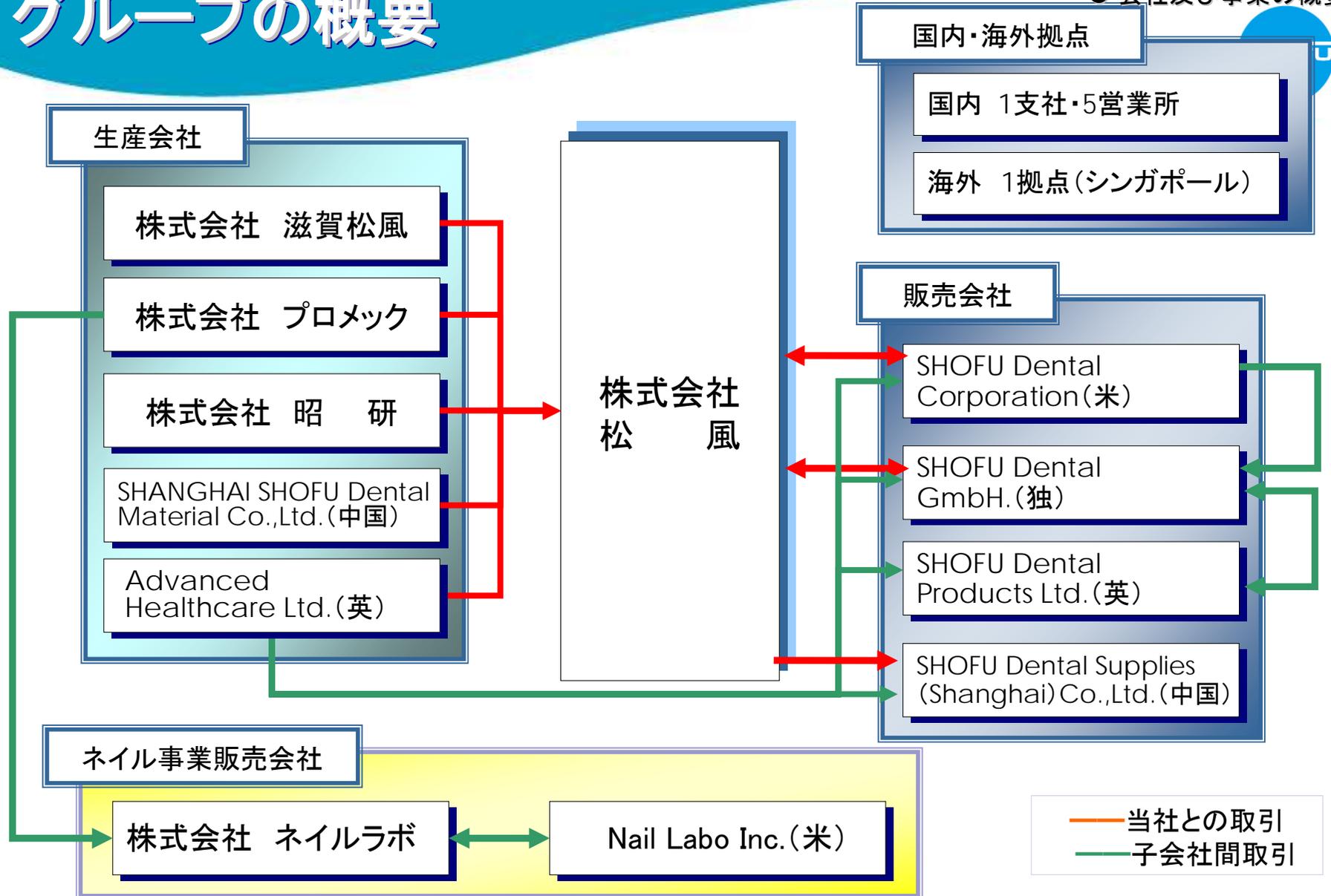
会社及び事業の概要



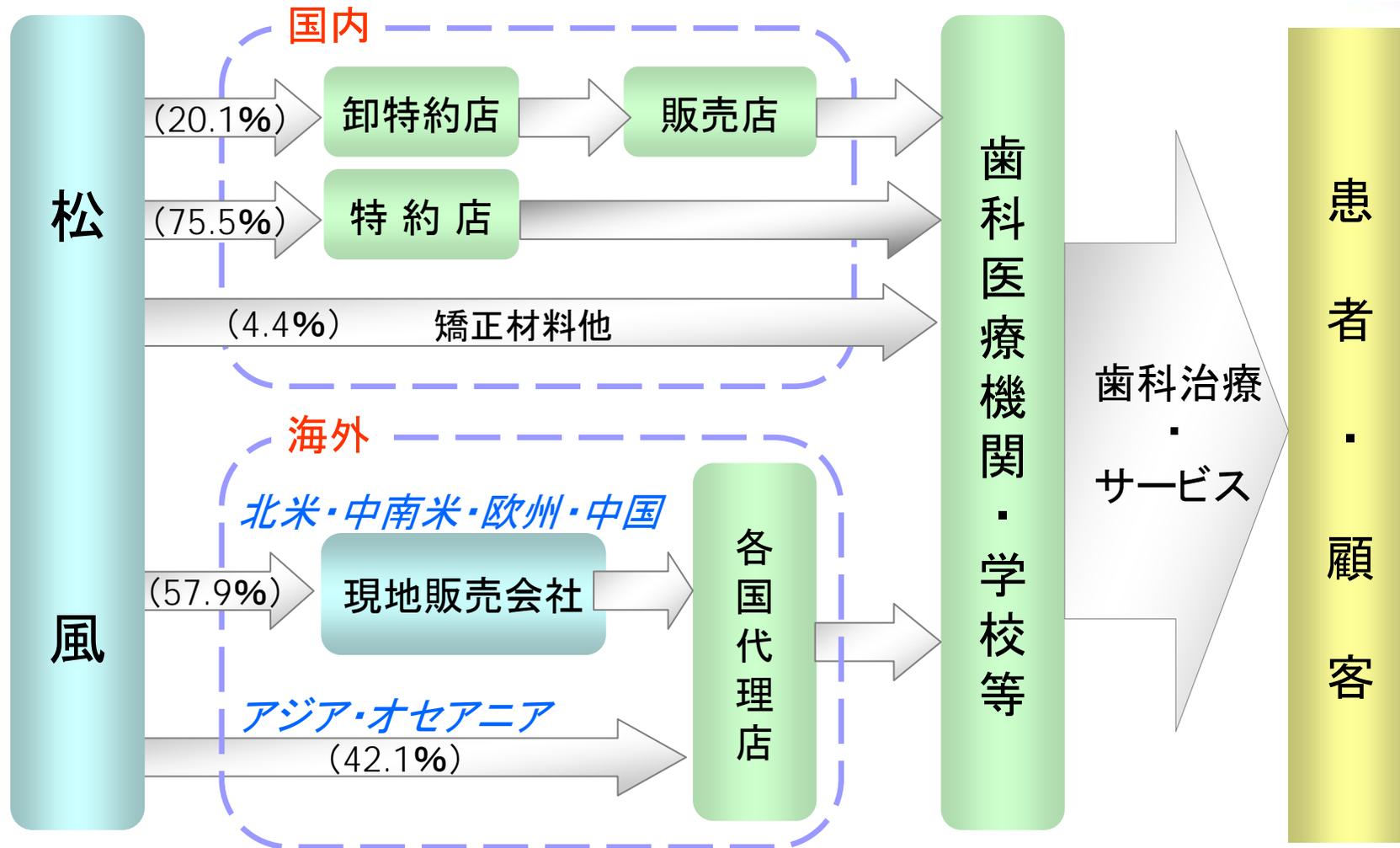
\* 世界の歯科医師数は「世界の歯科事情と安心ガイド」(日本歯科医師会)ほかより

# グループの概要

会社及び事業の概要

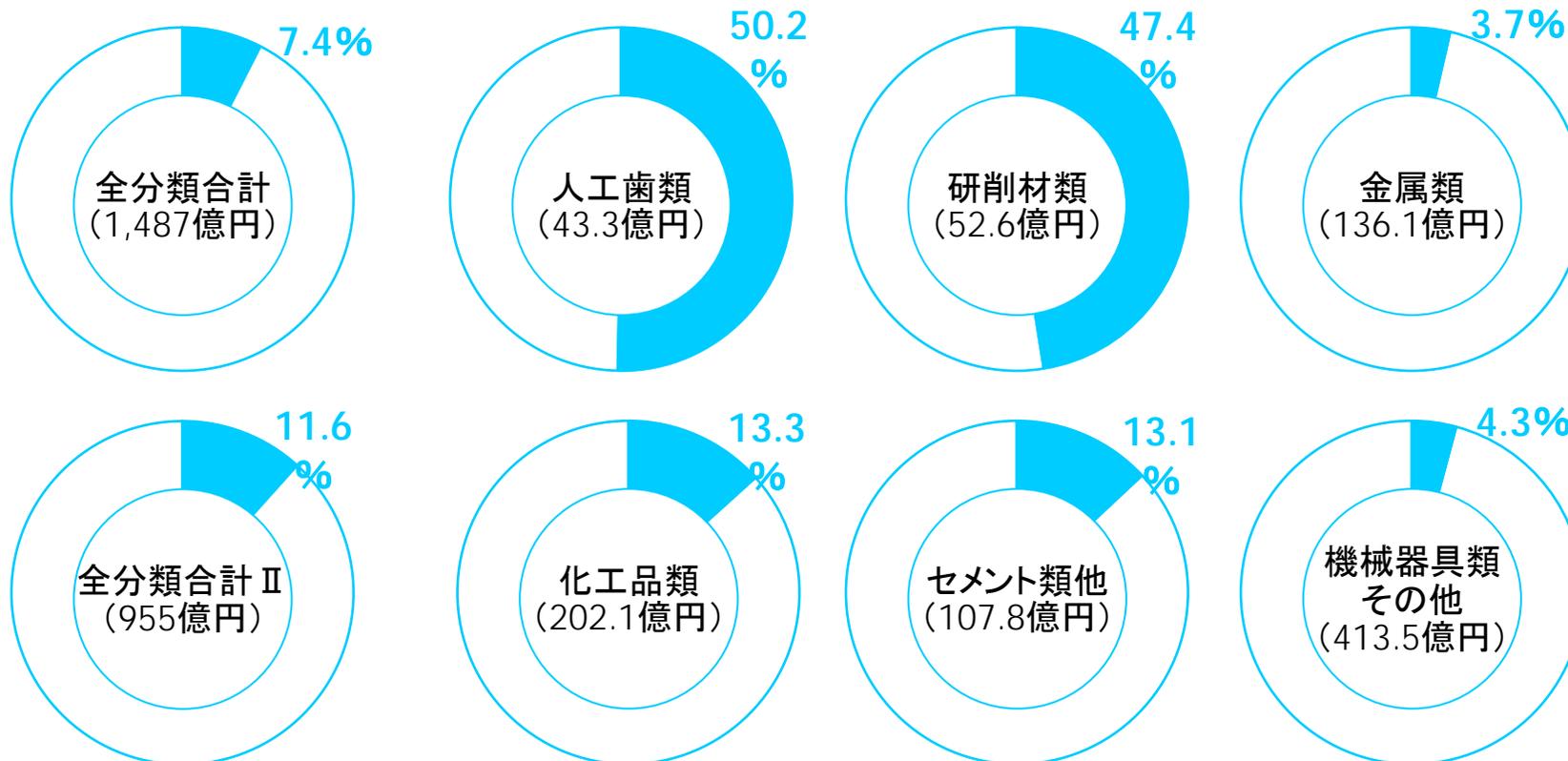


# 販売ルート



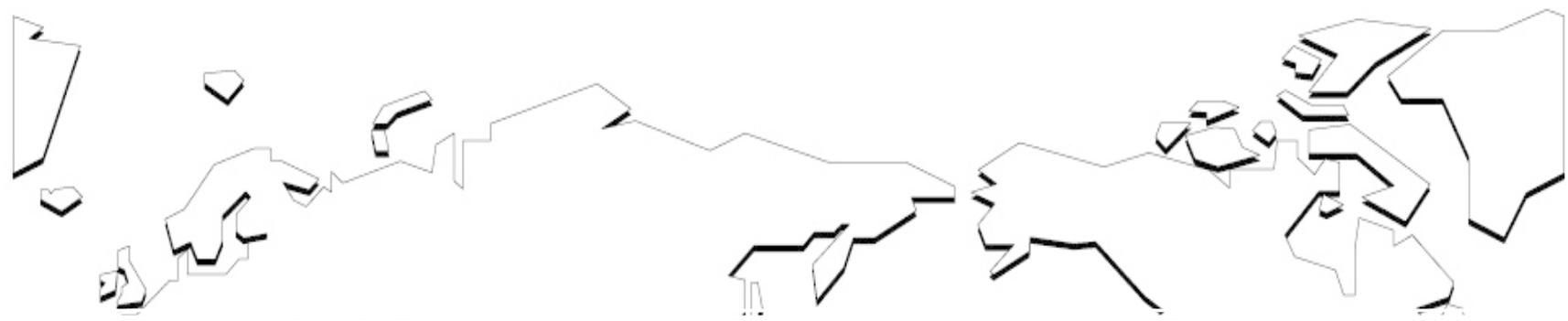
# 商品分類別マーケットシェア

⇒ 会社及び事業の概要

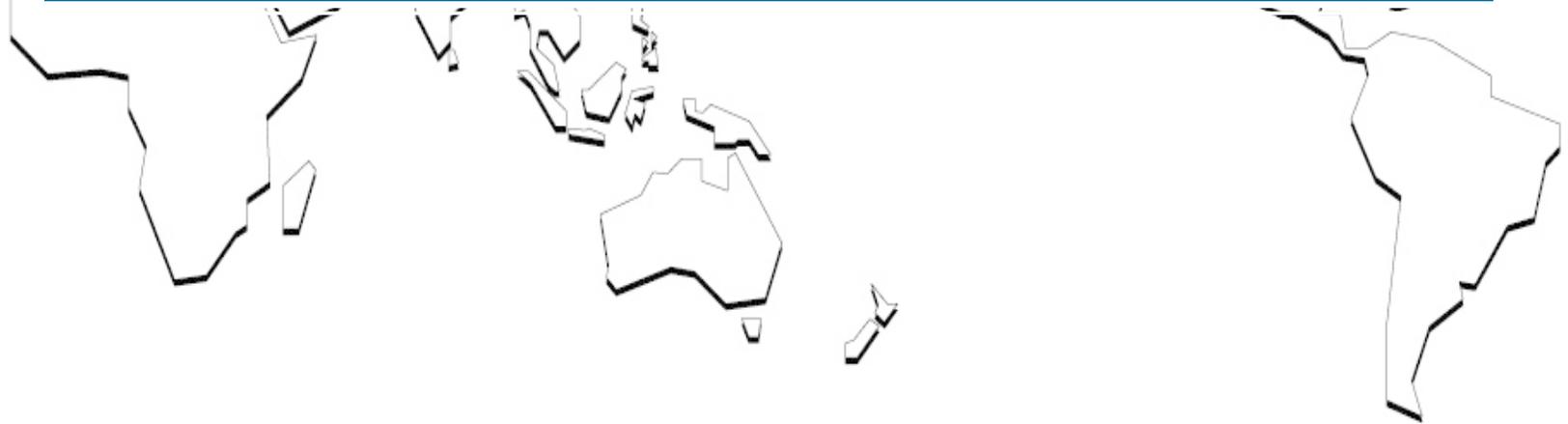


「全分類合計」は、「金銀パラジウム合金」「歯科診療室用機械装置」を含むシェアであり、「全分類合計Ⅱ」及びその他のシェアはすべて「金銀パラジウム合金」「歯科診療室用機械装置」を除くシェアであります。

厚生労働省 薬事工業生産動態統計  
(メーカー出荷額)に基づく  
(2006年暦年・国内)  
( )内は市場規模



**ご参考<歯科関係データ>**

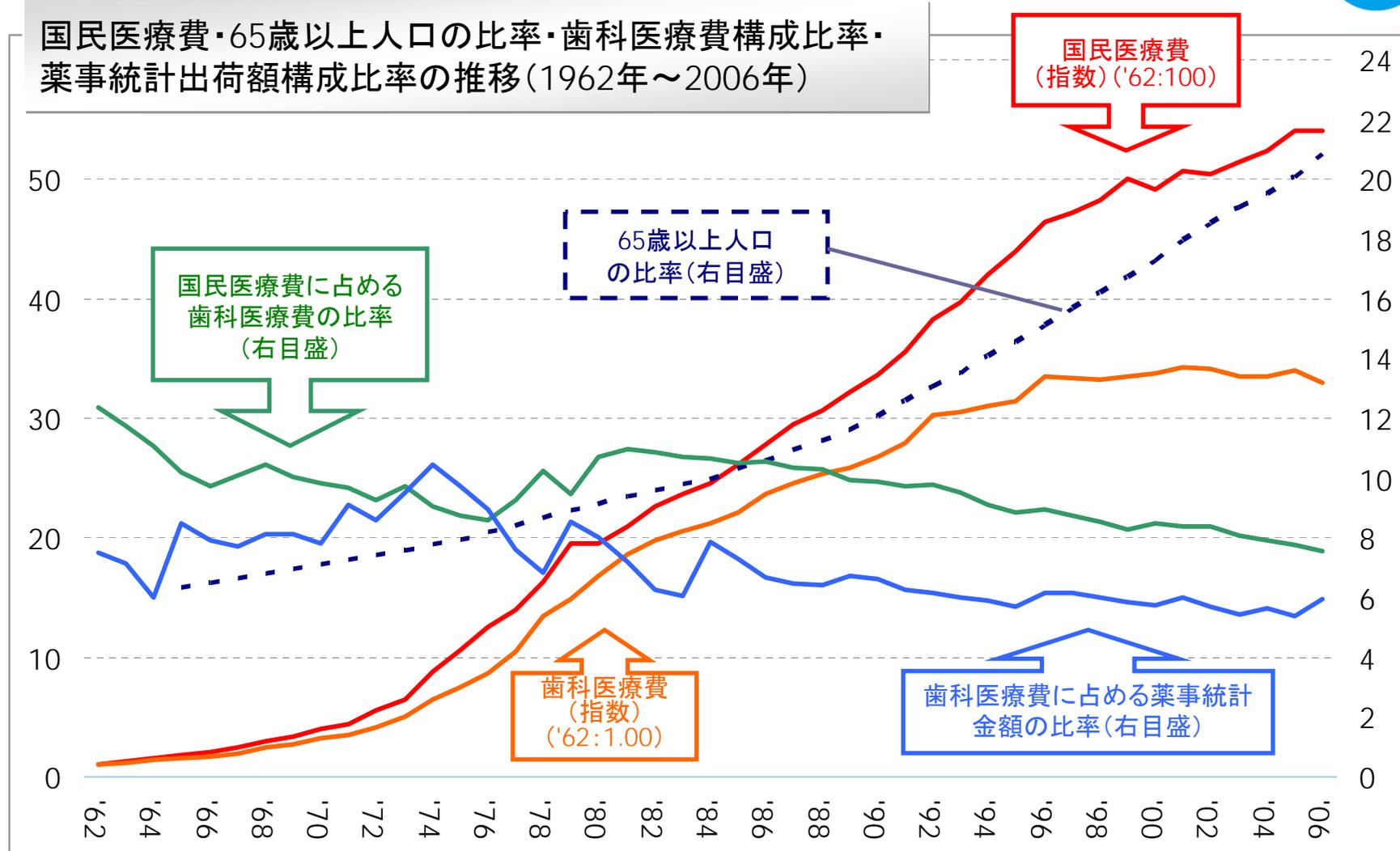


# 歯科関連統計の長期推移

ご参考：歯科関係データ



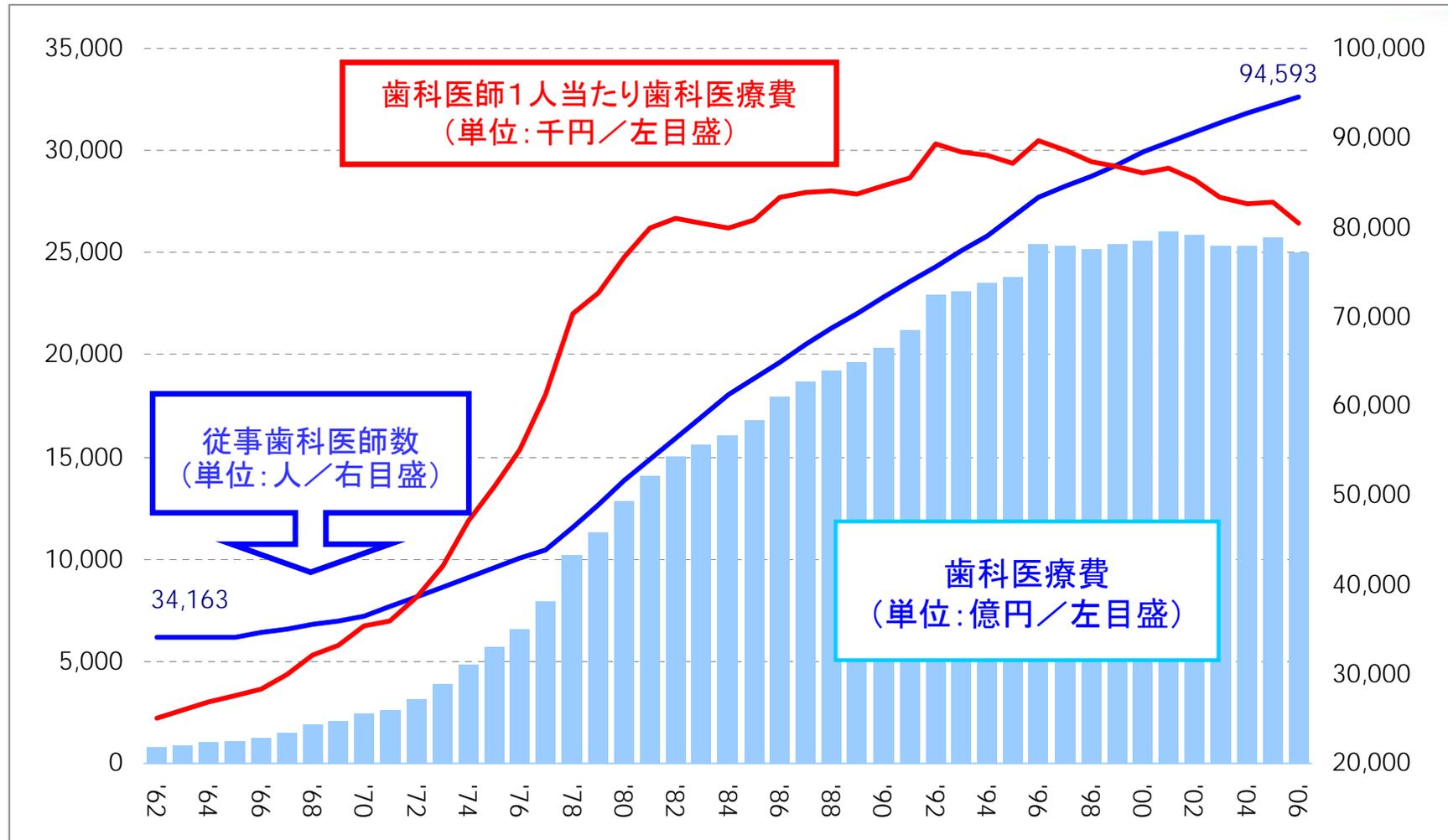
国民医療費・65歳以上人口の比率・歯科医療費構成比率・薬事統計出荷額構成比率の推移(1962年～2006年)



(国民医療費の概況、薬事工業生産動態統計(厚生労働省)各年資料より作成)

# 歯科医療費と歯科医師数の推移

ご参考: 歯科関係データ



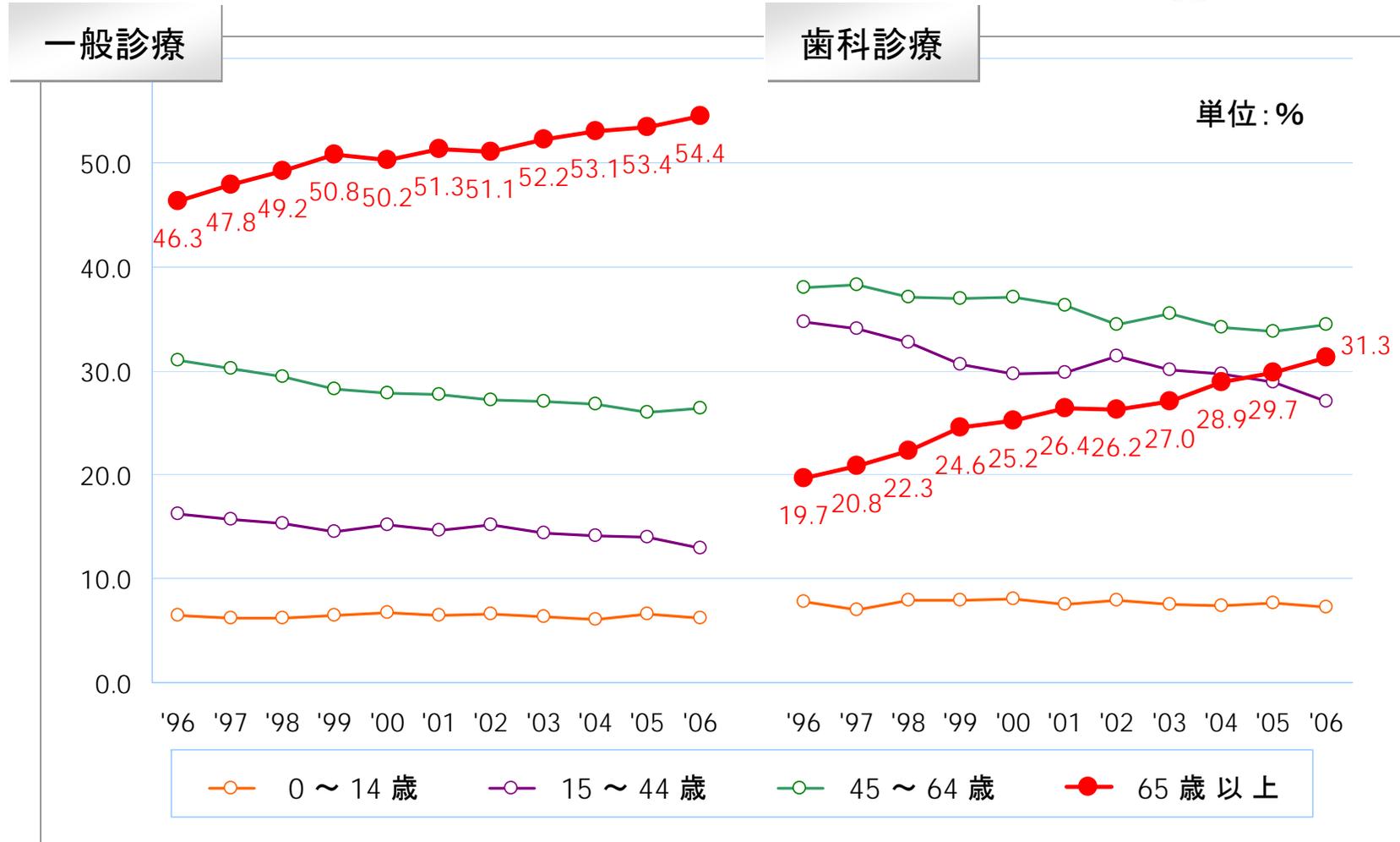
(国民医療費の概況、医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)各年資料より作成)

# 年齢層別医療費(構成比)

ご参考: 歯科関係データ



65歳以上の高齢者のウェイトは  
一般診療分野に比べ歯科は低い

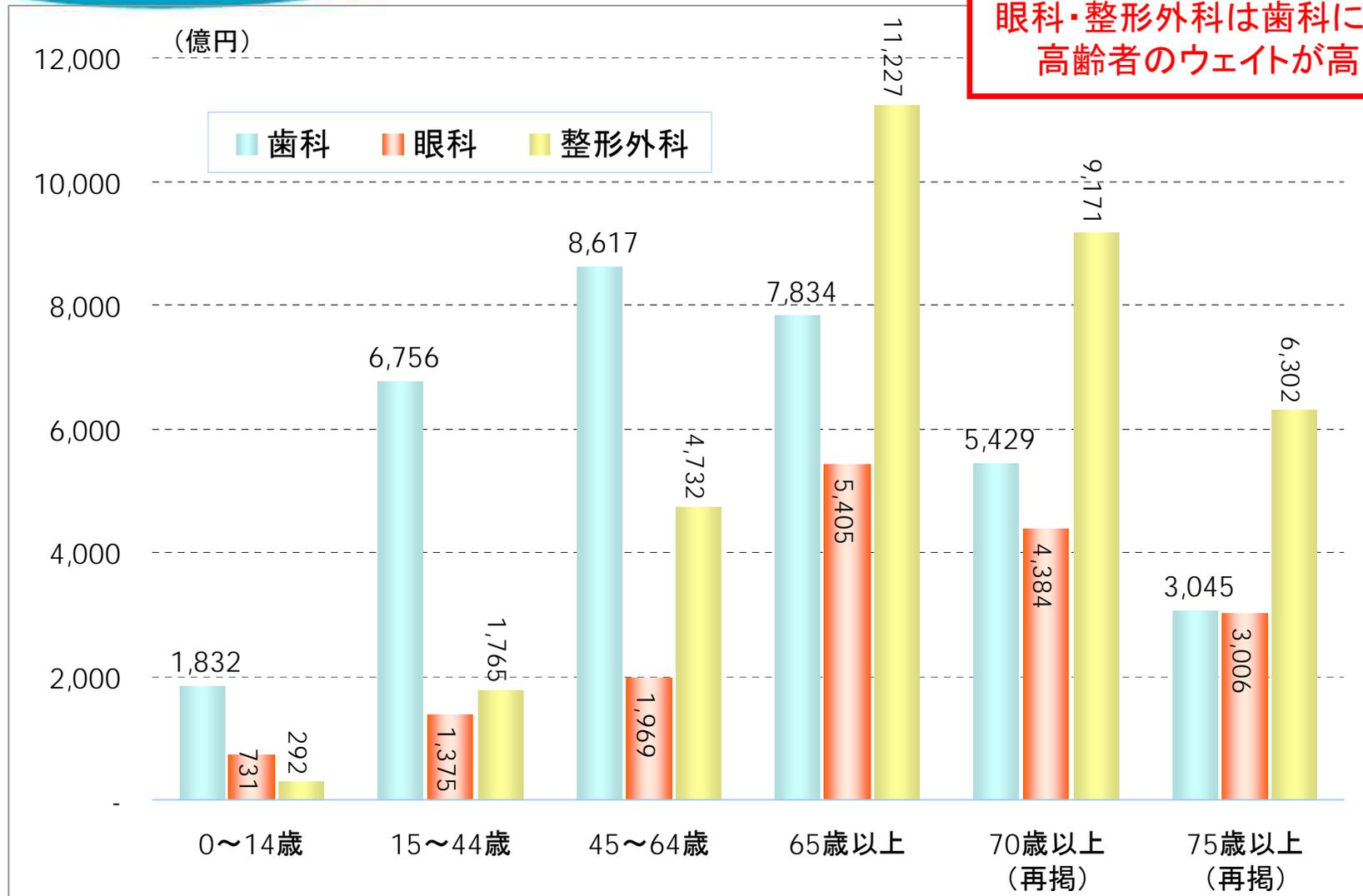


# 年齢層別医療費の対比—歯科・眼科・整形外科

ご参考：歯科関係データ



眼科・整形外科は歯科に比べ  
高齢者のウェイトが高い

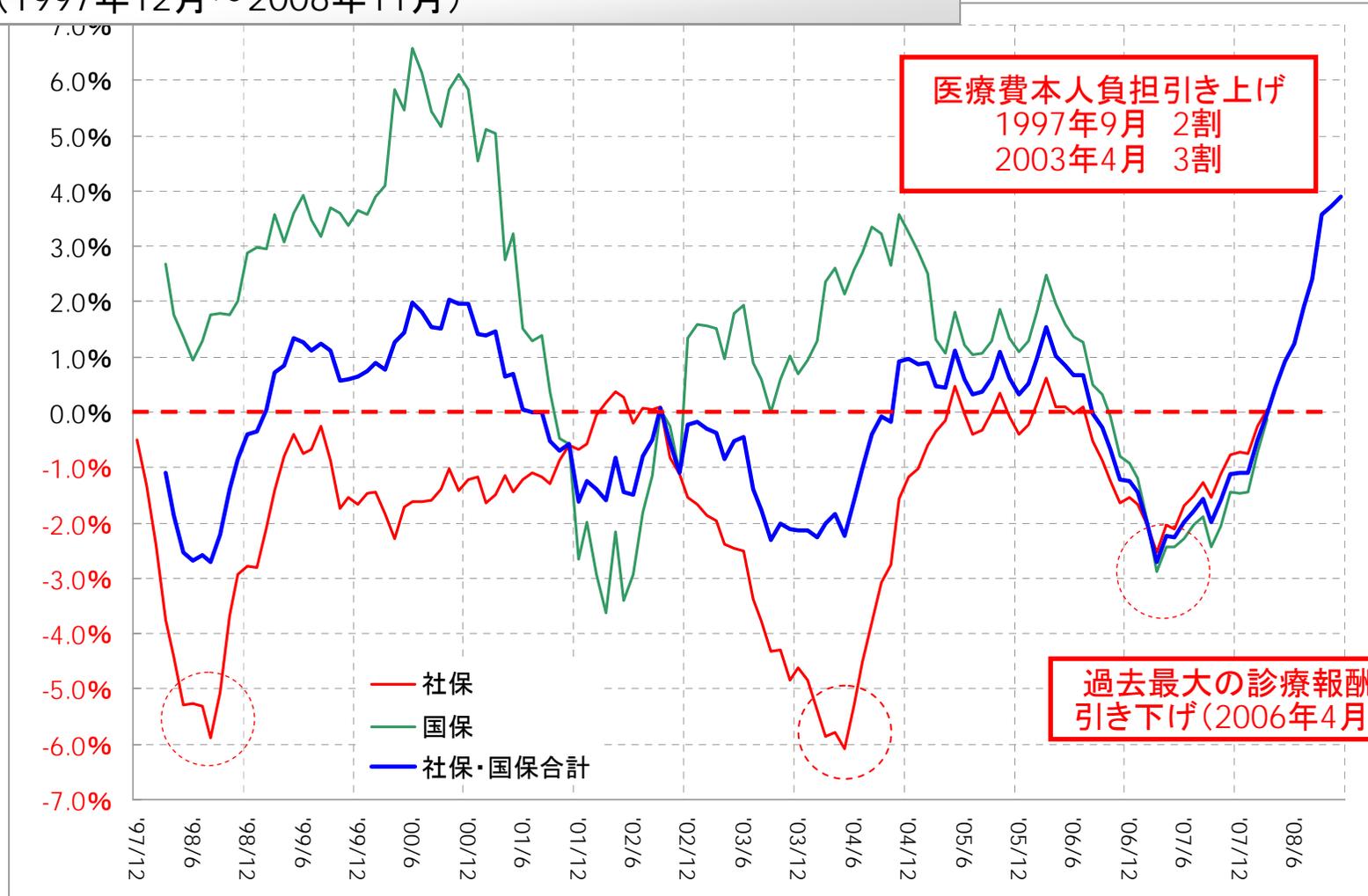


# 歯科医療費動向

ご参考: 歯科関係データ

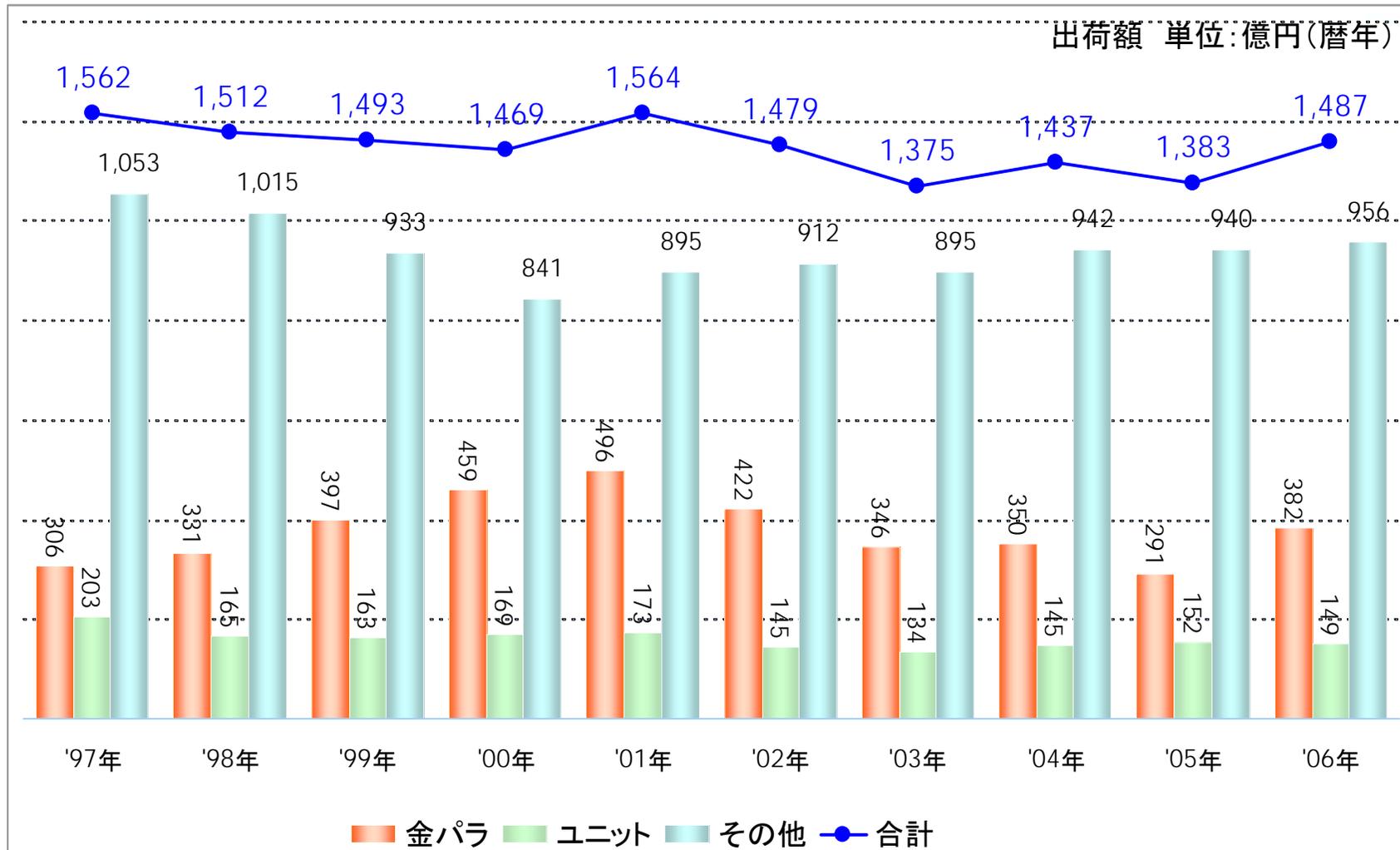


歯科医療保険支払金額の前年同月比(12ヵ月移動平均値)  
(1997年12月～2008年11月)



# 薬事統計出荷額推移

ご参考: 歯科関係データ



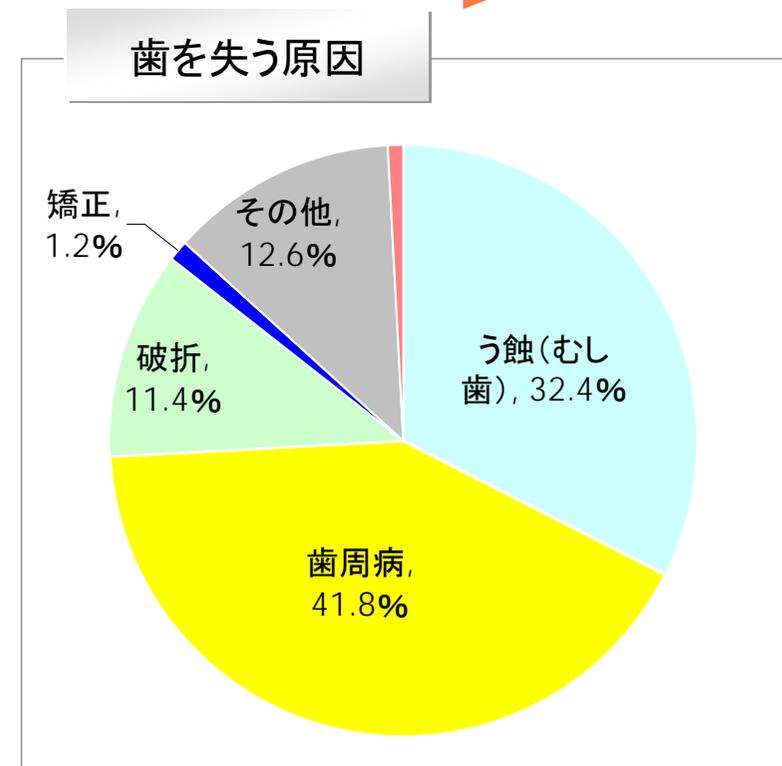
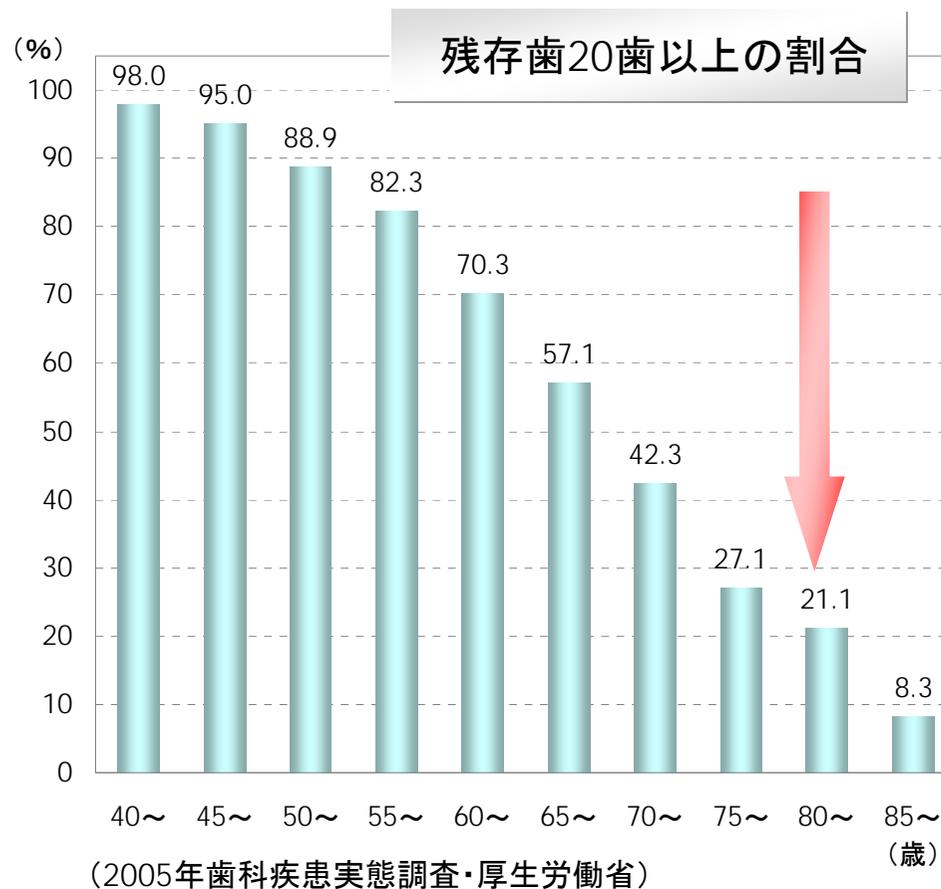
(厚生労働省 薬事工業生産動態統計(メーカー出荷額)(各年年報)より作成)

# 8020運動と歯科疾病の変化

ご参考: 歯科関係データ



2006年で「8020達成者20%」という第一目標をクリア



(2005年(財)8020推進財団調査)

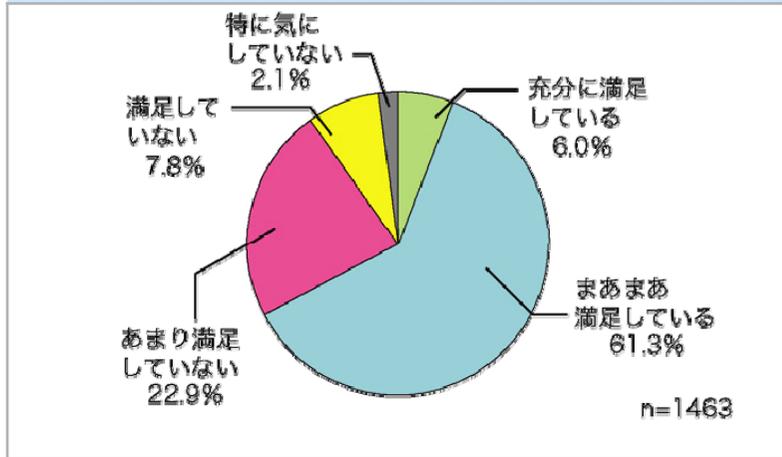
# 歯・口の健康に対する意識

ご参考：歯科関係データ

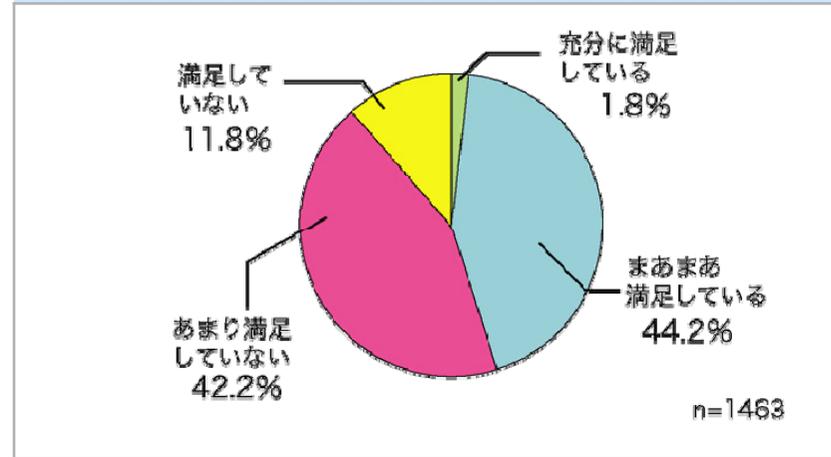
出典：平成19年度版 歯科医療機器産業  
ビジョン(参考資料集)より



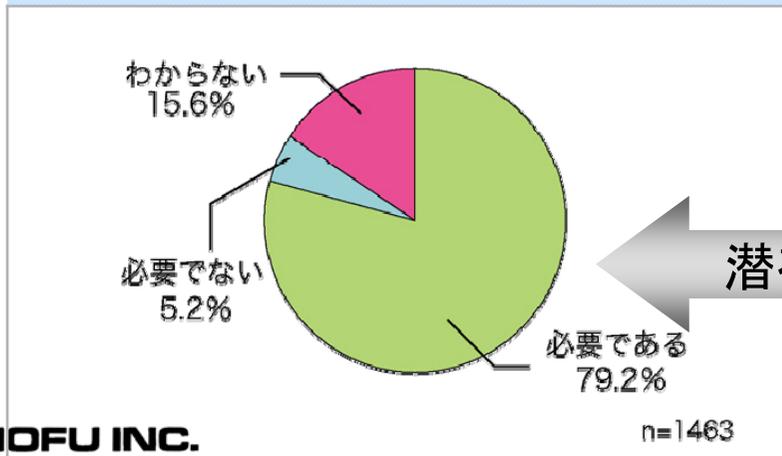
「身体の健康」に満足していますか？



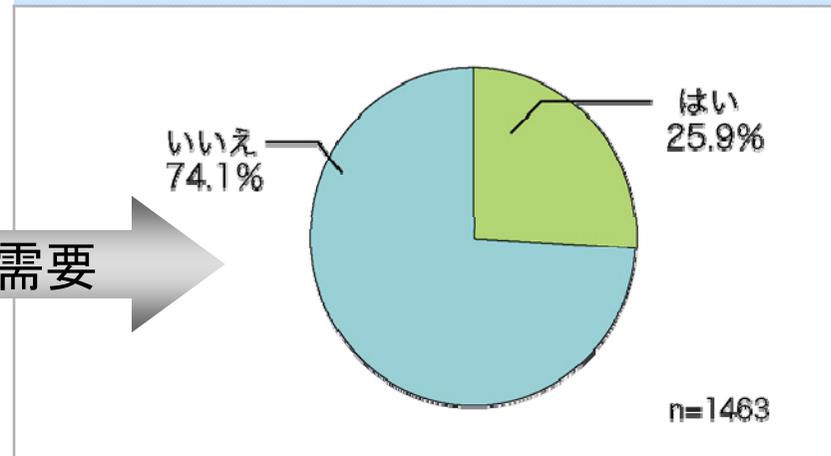
「お口の健康」に満足していますか？



歯科医院での定期ケア  
(健診・清掃)は必要だと思いますか？

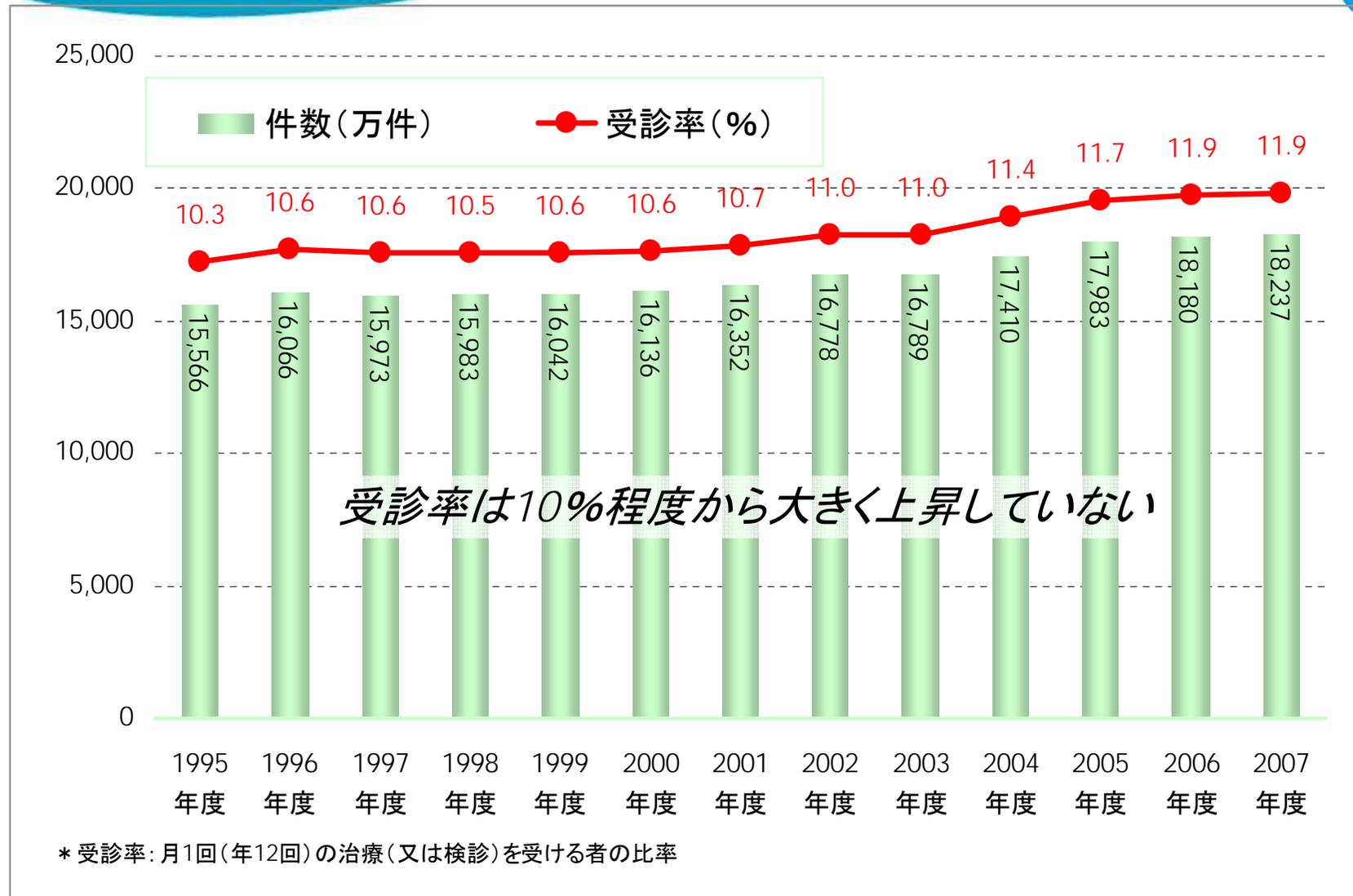


実際に定期ケアを受けていますか？



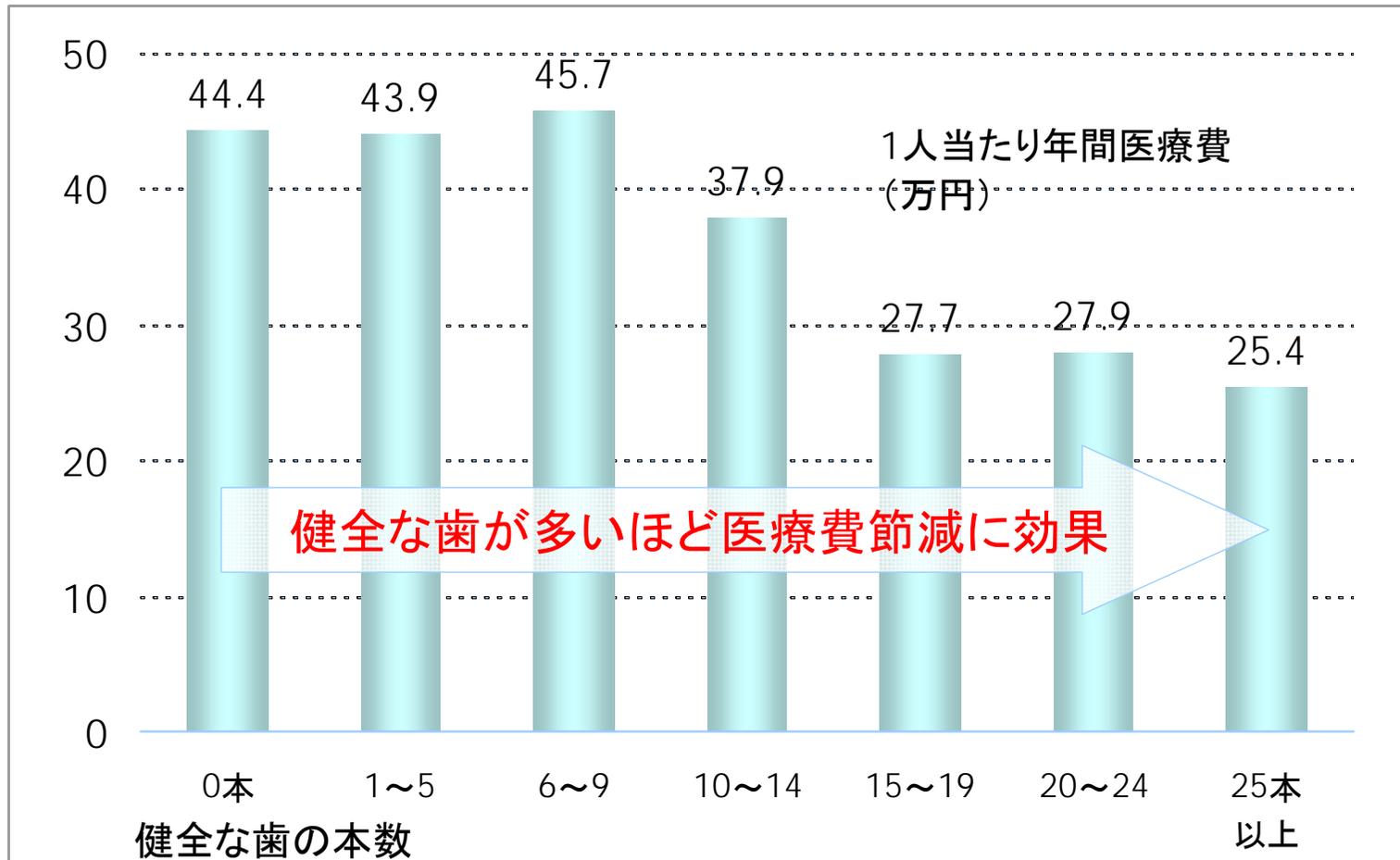
# 歯科診療受診率の推移

ご参考：歯科関係データ



# 健全な歯の数と医療費の関係

ご参考: 歯科関係データ



(日本大学松戸歯学部有川量崇専任講師「高齢者における口腔状態と医療費の関連性」(2003年発表論文)をもとに作成)

SHOFU INC. (調査対象: 自立している80歳の高齢者954人(男性392人、女性562人))

# 北米市場の動向

ご参考: 歯科関係データ



定期受診の定着  
→ 歯科医の不足

定期受診の拡大  
→ 歯科医過剰の解消へ

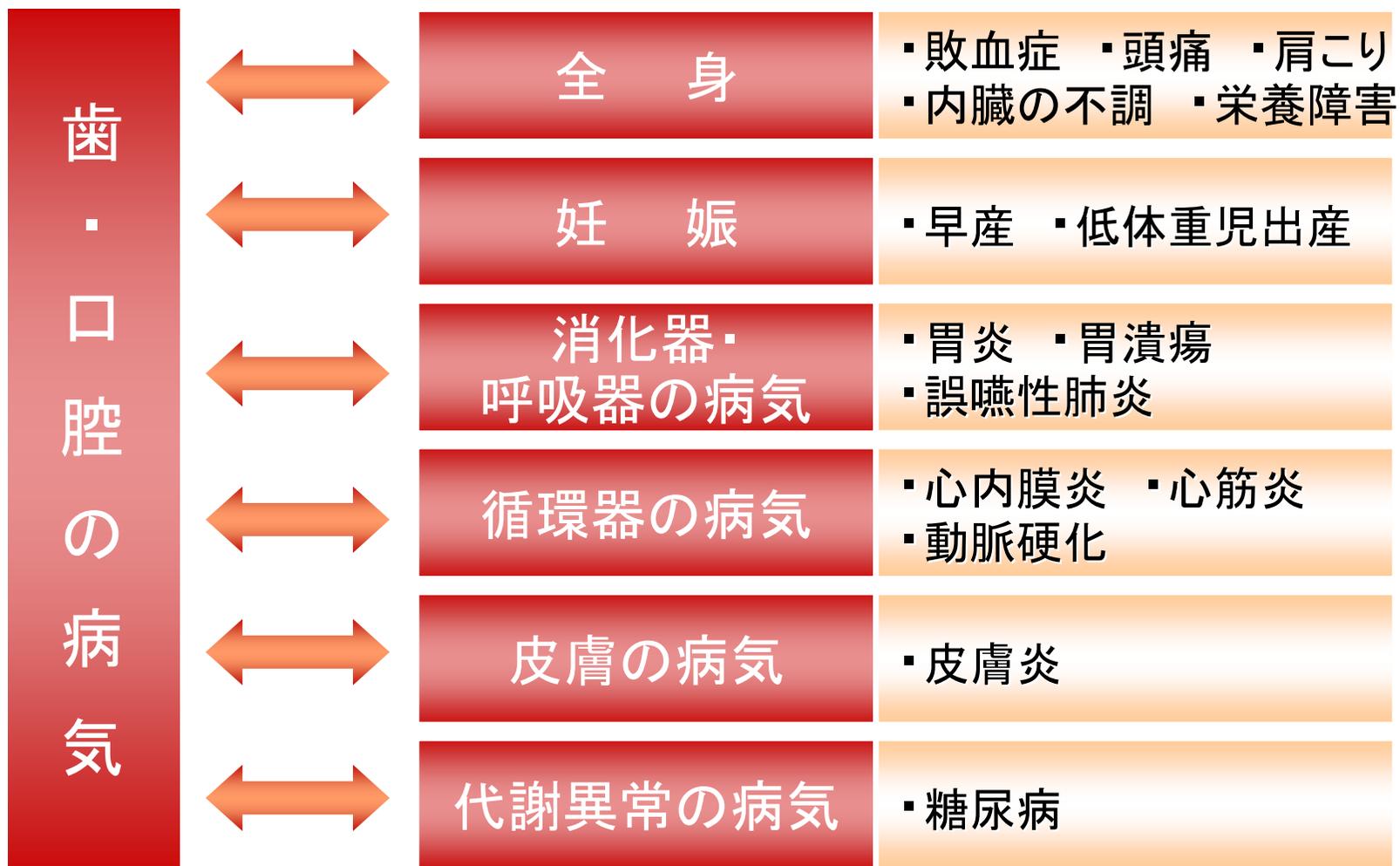
	北米	日本
定期受診率	54%	16%
歯科医師数 (人口1,000人当たり)	0.6人	0.7人
人口 (歯科医師一人当たり)	1,670人	1,430人

<WHOによる適正人口: 2,000人>

- \* 平成11年保健福祉動向調査とコルゲート社調査
- \* 日本歯科大学生命歯学部衛生学講座八重垣 健主任教授の「カナダ歯科界成功の理由」(DH Style 2007年9月号掲載)を参考

# むし歯や歯周病が引き起こす全身の病気

ご参考：歯科関係データ

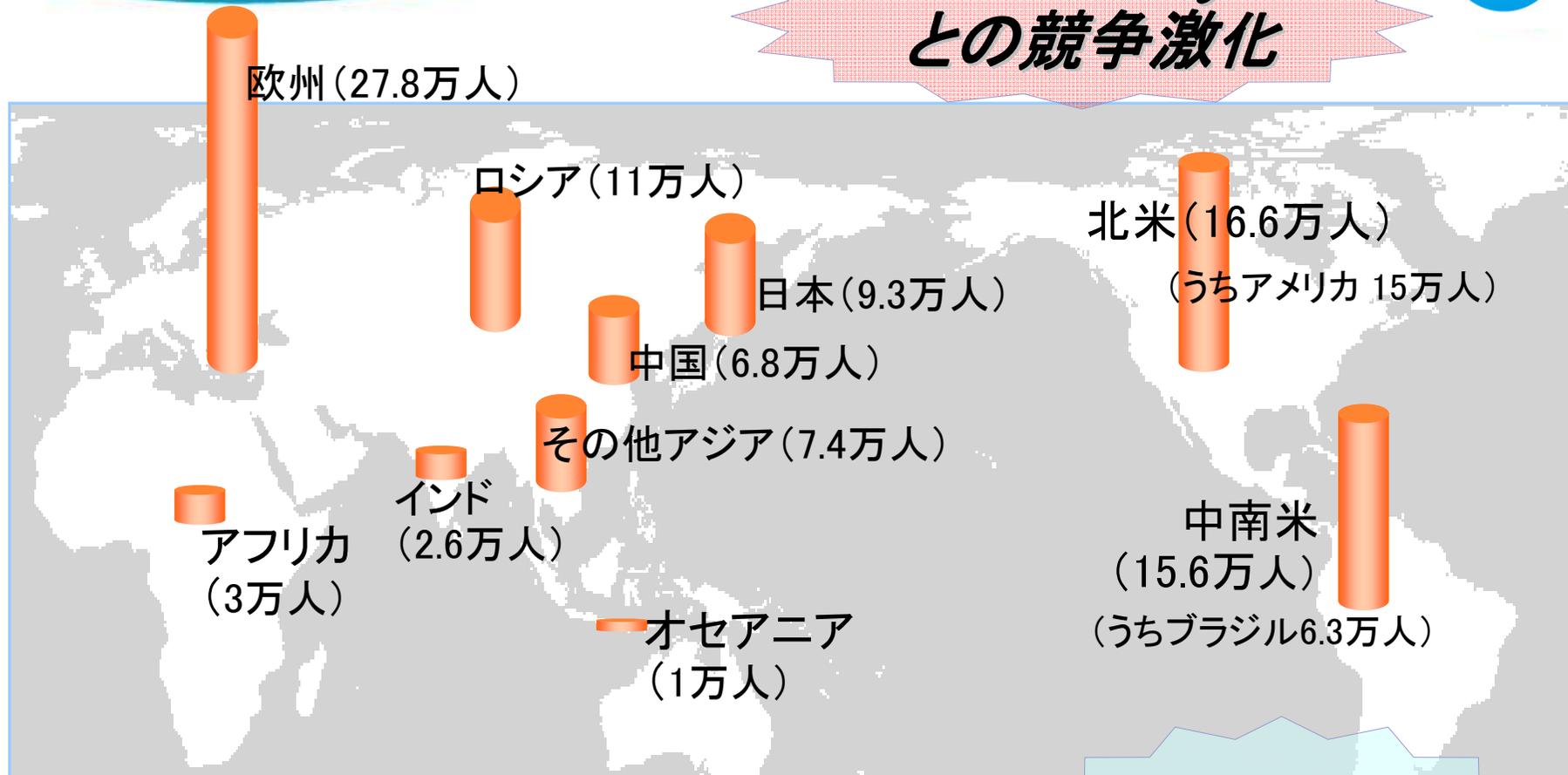


# 世界の歯科医師数

ご参考: 歯科関係データ



## Global Player との競争激化



◆基礎資料:  
歯科医師数.....日本歯科医師会  
「世界の歯科事情と安心ガイド」ほかより  
推定市場規模.....歯科医療機器産業ビジョン作成協議会  
「平成19年 歯科医療機器産業ビジョン」より

世界の歯科医数 約100万人  
推定市場規模 約2兆円